

第7章 コミュニケーション

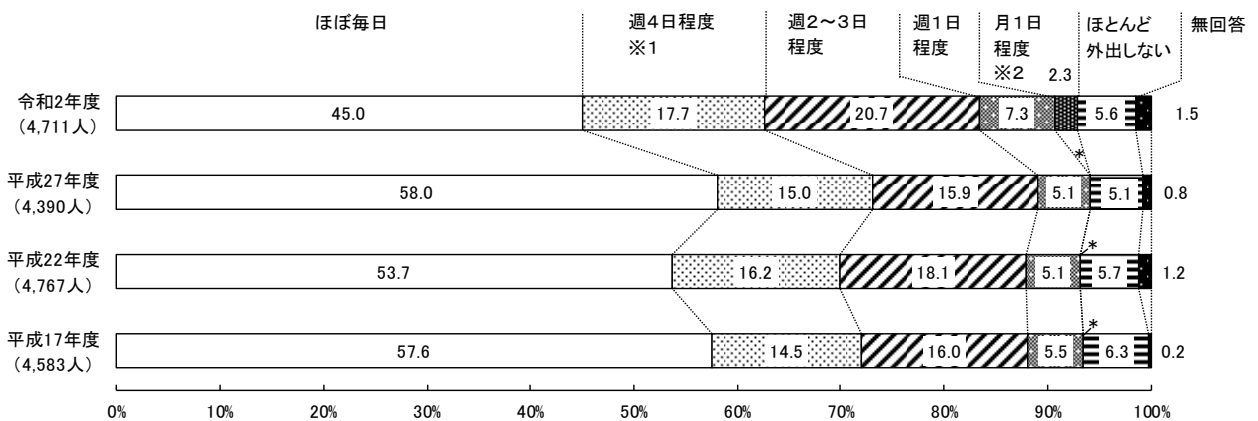
1 外出の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く、45.0%

通常どれくらいの頻度で外出するかを聞いたところ、「ほぼ毎日」の割合が45.0%で最も高く、次いで「週2～3日程度」が20.7%、「週4日程度」が17.7%となっている。

平成27年度調査と比べると、「ほぼ毎日」の割合は13.0ポイント減少している。(図7-1)

図7-1 外出の頻度—過去調査との比較



(注1) 平成27年度以前の「週〇日程度」の選択肢は、いずれも「週〇回程度」と回数表記であり、1日に2回以上外出する場合は、1回と数えた。

(注2) ※1は、平成17年度調査では「週4回以上」としていた。

(注3) ※2は、平成27年度以前は選択肢を設けていなかった。

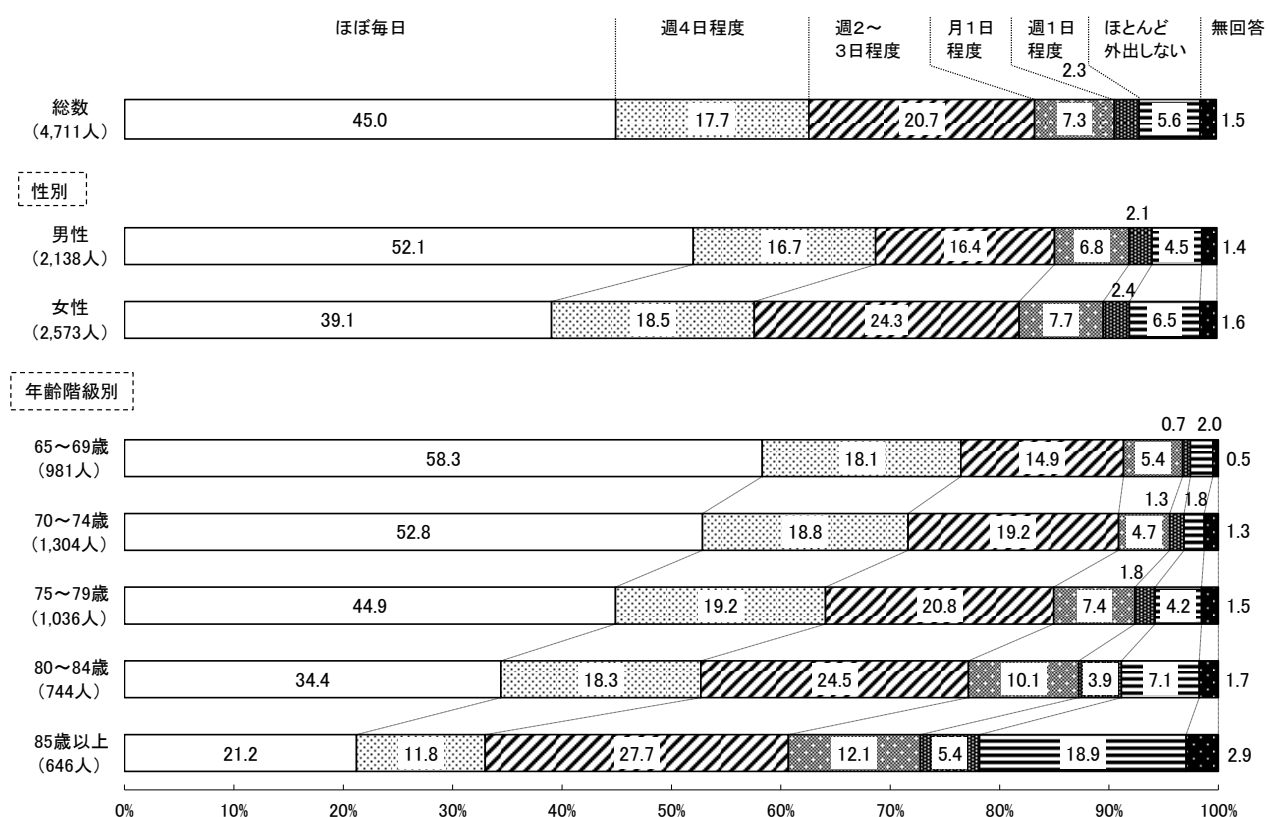
(1) 外出の頻度－性、年齢階級別

85歳以上では、「ほとんど外出しない」人が約2割

外出の頻度を性別で見ると、「ほぼ毎日」の割合は、男性 52.1%、女性 39.1%と、男性の方が13.0ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて「ほぼ毎日」の割合が低くなり、85歳以上では、21.2%となっている。一方、「ほとんど外出しない」の割合は、85歳以上では18.9%で、他の年齢階級に比べて高くなっている。(図7-2)

図7-2 外出の頻度－性、年齢階級別



(2) 外出の頻度－健康状態、動作能力類型、近所付き合いの程度別

「ほぼ毎日」の割合は、健康状態を「よい」と考える人では、約6割

外出の頻度を健康状態別にみると、「ほぼ毎日」の割合は、健康状態を「よい」と考える人では60.7%となっている。一方、「ほとんど外出しない」の割合は、健康状態を「よくない」と考える人では25.4%となっている。

動作能力類型別でみると、「ほぼ毎日」と「週4日程度」を合わせた割合は、比較的重い障害のある高齢者が52.2%、軽い障害のある高齢者が65.0%、障害のない高齢者が74.8%となっている。

近所付き合いの程度別でみると、付き合いがない人では「ほとんど外出しない」割合が16.1%となっており、他の近所付き合いの程度の人と比べて高くなっている。(表7-1)

表7-1 外出の頻度－健康状態、動作能力類型、近所付き合いの程度別

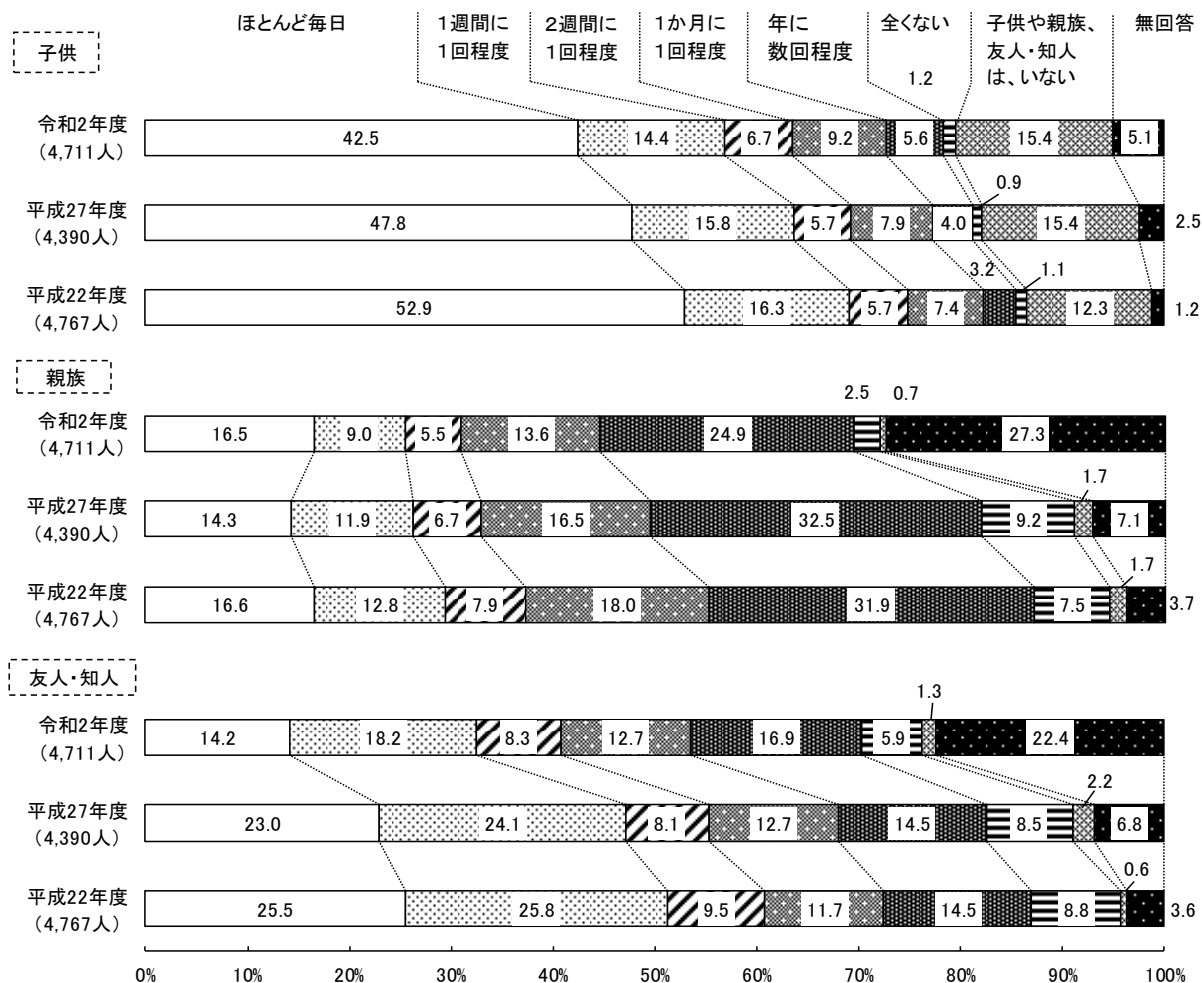
		総数	ほぼ毎日	週4日程度	週2～3日	週1日程度	月1日程度	外ほとんどない	無回答
総数		100.0 (4,711)	45.0	17.7	20.7	7.3	2.3	5.6	1.5
健康状態別	よい	100.0 (788)	<u>60.7</u>	16.0	15.7	4.8	0.5	1.3	1.0
	まあよい	100.0 (926)	53.5	19.5	19.3	4.0	1.3	1.0	1.4
	ふつう	100.0 (1,834)	45.1	19.7	23.0	7.1	1.5	2.2	1.4
	あまりよくない	100.0 (664)	34.2	16.9	21.8	12.2	4.4	9.0	1.5
	よくない	100.0 (114)	19.3	9.6	22.8	17.5	5.3	<u>25.4</u>	-
動作能力類型別	寝たきりなど的高齢者	100.0 (394)	4.3	8.9	21.8	10.7	10.7	42.1	1.5
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (661)	36.6	15.6	26.9	10.0	3.2	5.6	2.1
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,345)	44.8	20.2	22.1	8.4	1.5	1.7	1.3
	障害のない高齢者	100.0 (2,040)	55.9	18.9	17.4	4.9	0.7	1.0	1.2
			<u>52.2</u>						
			<u>65.0</u>						
			<u>74.8</u>						
近所付き合い別	お互いに訪問し合う人がいる	100.0 (569)	47.6	17.4	23.2	5.4	2.5	2.5	1.4
	立ち話をする程度の人がある	100.0 (1,864)	46.2	19.2	21.2	7.5	1.6	3.1	1.2
	あいさつをする程度の人がある	100.0 (1,654)	45.0	17.4	20.9	7.7	2.2	5.7	1.1
	付き合いがない	100.0 (541)	40.1	14.6	16.1	7.8	4.4	<u>16.1</u>	0.9

2 交流の頻度

子供との交流は「ほとんど毎日」の割合が最も高く、42.5%

同居・別居に関わらず、どれくらいの頻度で、子供、親族、友人・知人と交流（話す、会う、電話、メールなど）するかを聞いたところ、子供については「ほとんど毎日」の割合が42.5%、親族については「年に数回程度」が24.9%、「友人・知人」については「1週間に1回程度」が18.2%とそれぞれ最も高くなっている。（図7-3）

図7-3 交流の頻度—過去調査との比較



（注）令和2年度調査は、調査方法を郵送による自計式調査に変更しているため、平成27年度以前の調査結果と比較する場合には、無回答を含めた各項目の割合の変化に注意が必要である。

(1) 交流の頻度(子供)－性・年齢階級、動作能力類型別

子供と「ほとんど毎日」交流する割合は、男性よりも女性の方が高く、約5割

子供との交流の頻度を性別でみると、「ほとんど毎日」の割合が、男性 34.8%、女性 48.9%で、女性の方が14.1ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男女ともに、年齢階級が上がるにつれて、高くなっている（男性32.0%～44.0%、女性46.0%～58.6%）。

動作能力類型別にみると、寝たきりなどの高齢者は、「ほとんど毎日」の割合が52.8%で最も高くなっている。（表7-2）

表 7-2 交流の頻度(子供)－性・年齢階級、動作能力類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供はいない	無回答
総数		100.0 (4,711)	42.5	14.4	6.7	9.2	5.6	1.2	15.4	5.1
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	<u>34.8</u>	15.1	7.4	10.8	7.4	1.9	18.1	4.5
	65～74歳	100.0 (1,114)	<u>32.0</u>	14.3	6.7	9.7	8.0	2.4	24.1	2.9
	75～84歳	100.0 (767)	<u>35.9</u>	14.5	8.5	13.0	7.2	1.6	13.0	6.4
	85歳以上	100.0 (257)	<u>44.0</u>	20.2	7.4	8.6	5.8	0.8	7.4	5.8
	女	100.0 (2,573)	<u>48.9</u>	13.8	6.1	8.0	4.0	0.5	13.1	5.5
	65～74歳	100.0 (1,171)	<u>46.0</u>	15.5	5.4	9.9	3.8	0.4	15.7	3.3
	75～84歳	100.0 (1,013)	<u>48.4</u>	12.7	6.5	7.2	4.9	0.9	11.5	7.8
	85歳以上	100.0 (389)	<u>58.6</u>	11.6	7.5	4.1	2.6	-	9.5	6.2
動作能力類型別	寝たきりなどの高齢者	100.0 (394)	<u>52.8</u>	15.2	4.1	6.9	5.6	1.5	8.1	5.8
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (661)	42.2	14.7	6.8	7.7	5.3	1.4	14.8	7.1
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,345)	42.6	14.2	7.5	10.0	5.5	1.2	14.7	4.3
	障害のない高齢者	100.0 (2,040)	41.6	14.6	6.9	9.6	5.7	0.8	17.0	3.9

(2) 交流の頻度(子供)－世帯類型、子供との距離(同居・別居含む)別

子供と「ほとんど毎日」交流する割合は、同居 82.7%、別居で 27.6%

子供との交流の頻度を世帯類型別にみると、ひとりぐらしでは、「ほとんど毎日」の割合が 19.8%となっている。また、高齢者のみの世帯の「配偶者と二人暮らし」では、「1週間に一回程度」の割合が 24.1%、「ほとんど毎日」が 23.6%となっている。

子供との距離別にみると、子供と同居している人は、「ほとんど毎日」の割合が 82.7%となっている。一方、別居している人は、「ほとんど毎日」の割合が 27.6%、「1週間に一回程度」が 25.0%となっている。(表 7-3)

表 7-3 交流の頻度(子供)－世帯類型、子供との距離(同居・別居含む)別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供はいない	無回答
総数		100.0 (4,711)	42.5	14.4	6.7	9.2	5.6	1.2	15.4	5.1
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	21.9	19.3	9.9	12.4	7.5	1.7	22.9	4.4
	ひとりぐらし	100.0 (1,047)	19.8	14.3	6.4	7.7	5.5	3.2	38.2	4.9
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	23.6	24.1	12.6	15.9	8.9	0.5	10.1	4.3
	その他	100.0 (157)	20.4	7.0	8.3	10.2	7.0	3.8	41.4	1.9
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	76.0	6.7	1.7	3.7	2.3	0.4	4.1	5.1
	配偶者と二人暮らし	100.0 (134)	14.2	17.2	4.5	13.4	12.7	3.7	33.6	0.7
	二世帯(子供と同居)	100.0 (1,183)	82.1	6.2	1.8	2.7	1.4	0.2	-	5.7
	三世帯(親と子供、または子供と孫)	100.0 (273)	90.5	2.6	0.7	1.8	0.7	-	-	3.7
	その他	100.0 (87)	42.5	10.3	-	8.0	3.4	-	26.4	9.2
子供との距離別	子供と同居している	100.0 (1,594)	82.7	5.8	1.4	2.6	1.6	0.2	-	5.7
	子供と別居している	100.0 (2,330)	27.6	25.0	12.5	16.8	10.1	2.2	-	5.7
	隣	100.0 (244)	67.6	18.4	5.3	2.5	0.4	-	-	5.7
	10分くらい	100.0 (426)	37.3	38.0	9.9	6.3	4.0	-	-	4.5
	30分くらい	100.0 (495)	23.6	31.3	16.4	18.8	5.3	0.6	-	4.0
	1時間くらい	100.0 (668)	13.5	22.3	16.8	27.2	13.8	1.9	-	4.5
	2～3時間くらい	100.0 (207)	11.6	15.9	10.6	23.2	28.5	3.9	-	6.3
	それ以上	100.0 (118)	11.9	17.8	9.3	16.1	23.7	14.4	-	6.8

(3) 交流の頻度(親族)－性・年齢階級、世帯類型別

男女ともに、いずれの年齢階級においても、親族との交流は「年に数回程度」の割合が最も高い

親族との交流の頻度を性・年齢階級別にみると、男女ともに、いずれの年齢階級においても、「年に数回程度」の割合が最も高くなっている(16.9%～33.0%)。(表7-4)

表7-4 交流の頻度(親族)－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	親族はいない	無回答
総数		100.0 (4,711)	16.5	9.0	5.5	13.6	24.9	2.5	0.7	27.3
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	16.8	6.0	5.0	11.2	29.9	3.1	1.1	26.9
	65～74歳	100.0 (1,114)	19.9	6.6	5.0	10.7	<u>33.0</u>	4.3	1.3	19.0
	75～84歳	100.0 (767)	12.5	5.2	5.1	12.5	<u>27.6</u>	1.8	0.9	34.3
	85歳以上	100.0 (257)	16.0	5.4	4.7	9.3	<u>23.0</u>	1.9	0.8	38.9
	女	100.0 (2,573)	16.2	11.4	6.0	15.7	20.7	2.0	0.3	27.6
	65～74歳	100.0 (1,171)	19.6	12.6	6.6	17.6	<u>23.3</u>	1.5	0.3	18.5
	75～84歳	100.0 (1,013)	15.0	11.2	5.6	15.0	<u>16.9</u>	1.2	0.1	35.0
	85歳以上	100.0 (389)	9.5	8.7	5.1	11.6	<u>22.9</u>	5.7	0.8	35.7
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	11.5	9.0	6.3	15.0	25.9	3.4	1.1	27.7
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	7.7	10.0	5.8	14.5	21.9	8.3	2.8	28.9
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	12.5	8.4	6.8	16.1	29.3	-	-	26.8
	その他	100.0 (157)	28.0	7.6	5.1	7.0	21.0	3.2	-	28.0
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	24.7	9.1	4.3	12.8	24.3	0.8	0.1	24.0
	配偶者と二人暮らし	100.0 (134)	17.2	8.2	5.2	9.0	36.6	-	-	23.9
	二世帯(子供と同居)	100.0 (1,183)	22.4	9.3	4.3	13.0	24.1	0.9	0.1	25.9
	三世帯(親と子供、または子供と孫)	100.0 (273)	34.1	9.2	4.0	15.0	22.0	-	-	15.8
その他	100.0 (87)	37.9	8.0	3.4	9.2	14.9	2.3	-	24.1	

(4) 交流の頻度(友人・知人)－性・年齢階級、世帯類型別

友人・知人との交流は、男性では「年に数回程度」、女性では「1週間に1回程度」の割合が約2割

友人・知人との交流の頻度を性別でみると、男性は、「年に数回程度」の割合が21.0%で最も高く、次いで「1週間に一回程度」が14.5%となっている。女性は、「1週間に一回程度」の割合が21.3%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」が15.9%となっている。
(表7-5)

表7-5 交流の頻度(友人・知人)－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	友人・知人はいない	無回答
総数		100.0 (4,711)	14.2	18.2	8.3	12.7	16.9	5.9	1.3	22.4
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	12.3	14.5	7.3	13.6	21.0	7.4	1.8	22.3
	65～74歳	100.0 (1,114)	15.5	16.3	8.2	13.9	23.1	6.4	2.2	14.4
	75～84歳	100.0 (767)	9.4	14.1	6.4	14.3	18.3	7.2	1.4	28.9
	85歳以上	100.0 (257)	6.6	7.8	6.2	9.7	19.8	12.5	0.8	36.6
	女	100.0 (2,573)	15.9	21.3	9.2	11.9	13.6	4.7	1.0	22.4
	65～74歳	100.0 (1,171)	18.3	24.4	10.2	13.9	15.4	3.0	0.7	14.1
	75～84歳	100.0 (1,013)	16.4	19.9	9.3	11.2	11.0	3.7	0.5	28.1
	85歳以上	100.0 (389)	7.2	15.2	5.9	8.0	15.2	12.9	3.1	32.6
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	14.5	17.8	8.6	12.9	17.0	6.6	1.6	21.0
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	16.3	17.9	7.5	11.5	12.7	8.3	3.3	22.4
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	13.1	18.2	9.3	14.0	20.1	5.4	0.4	19.4
	その他	100.0 (157)	14.6	13.4	8.3	11.5	16.6	7.0	1.9	26.8
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	14.5	19.1	8.1	12.9	17.9	4.7	0.8	21.8

(5) 交流の頻度(友人・知人)－外出の頻度、近所付き合いの程度、地域とのつながり別

ほとんど外出しない人の約2割は、友人・知人との交流が「全くない」

友人・知人との交流の頻度を外出の頻度別にみると、ほぼ毎日外出する人は、「ほとんど毎日」の割合が21.6%で最も高くなっている。一方、ほとんど外出しない人は、「全くない」の割合が21.3%で最も高くなっている。

近所付き合いの程度別にみると、お互いに訪問し合う人がいる人は、「ほとんど毎日」の割合が33.4%で最も高くなっている。

地域とのつながり別にみると、強くなっていると感じている人は、「ほとんど毎日」の割合が34.0%となっている。(表7-6)

表7-6 交流の頻度(友人・知人)－外出の頻度、近所付き合いの程度、地域とのつながり別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	友人・知人はいない	無回答
総数		100.0 (4,711)	14.2	18.2	8.3	12.7	16.9	5.9	1.3	22.4
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,119)	<u>21.6</u>	18.5	7.7	11.8	15.1	3.8	1.1	20.3
	週4回程度	100.0 (834)	11.3	22.7	10.6	13.2	17.0	4.4	1.1	19.8
	週2～3回程度	100.0 (974)	8.5	19.8	10.3	13.8	19.3	5.5	0.8	22.0
	週1回程度	100.0 (344)	4.1	12.2	7.6	18.6	20.6	8.7	1.5	26.7
	月1日程度	100.0 (107)	4.7	10.3	1.9	12.1	21.5	17.8	1.9	29.9
	ほとんど外出しない	100.0 (263)	4.6	8.0	3.4	7.6	16.7	<u>21.3</u>	4.9	33.5
近所付き合い別の	お互いに訪問し合う人がいる	100.0 (569)	<u>33.4</u>	25.8	7.4	9.5	4.6	0.2	-	19.2
	立ち話をする程度の人がある	100.0 (1,864)	14.0	21.9	10.3	14.4	15.4	2.5	0.4	21.2
	あいさつをする程度の人がある	100.0 (1,654)	10.5	13.9	7.8	13.1	23.1	8.2	1.5	22.0
	付き合いがない	100.0 (541)	6.8	12.4	5.4	10.4	18.1	17.2	5.7	24.0
地域とのつながり別	弱くなっている	100.0 (1,285)	9.1	15.0	8.0	15.9	20.2	7.9	2.5	21.5
	少し弱くなっている	100.0 (662)	12.5	23.0	11.2	13.4	16.3	2.3	0.5	20.8
	変わらない	100.0 (2,094)	18.1	19.6	8.8	12.4	15.9	3.8	0.5	20.8
	少し強くなっている	100.0 (114)	30.7	31.6	7.0	8.8	7.0	0.9	-	14.0
	強くなっている	100.0 (53)	<u>34.0</u>	11.3	15.1	3.8	5.7	1.9	-	28.3
	その他	100.0 (106)	13.2	12.3	3.8	7.5	27.4	9.4	5.7	20.8

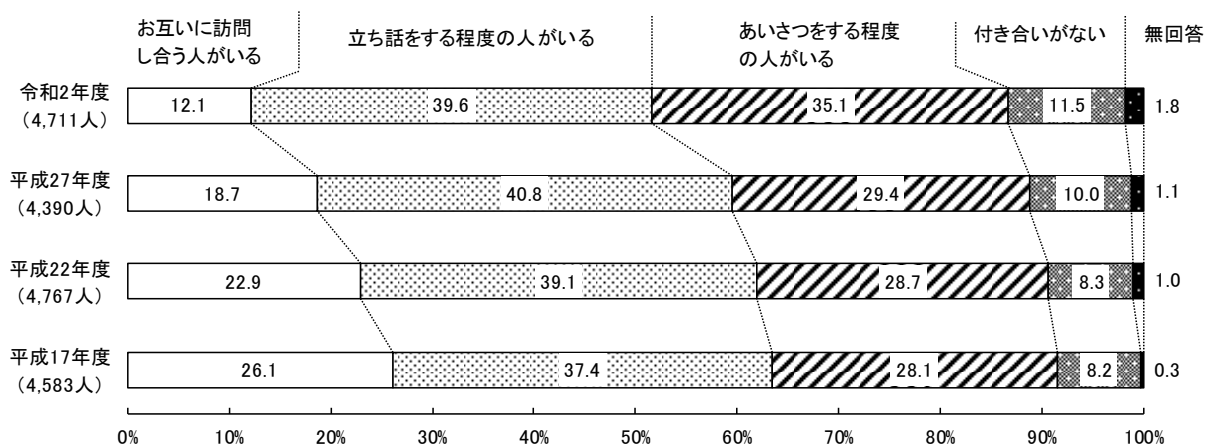
3 近所付き合いの程度

「立ち話をする程度の人がある」の割合が最も高く、約4割

近所付き合いの程度を聞いたところ、「立ち話をする程度の人がある」の割合が39.6%で最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がある」が35.1%となっている。

平成27年度調査と比べて、「お互いに訪問し合う人がある」の割合は6.6ポイント減少している一方、「あいさつをする程度の人がある」は5.7ポイント増加している。(図7-4)

図7-4 近所付き合いの程度－過去調査との比較



(1) 近所付き合いの程度－性、年齢階級、地域、世帯構成（世代）別

単身世帯（ひとりぐらし）では、「付き合いがない」の割合が18.1%で、他の世帯構成に比べて高い

近所付き合いの程度を性別でみると、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、男性6.4%、女性は16.8%で、女性の方が10.4ポイント高くなっている。

世帯構成（世代）別にみると、いずれの世帯構成でも「立ち話をする程度の人がある」の割合が最も高くなっている（34.6%～41.5%）。単身世帯（ひとりぐらし）では、「付き合いがない」の割合が18.1%で、他の世帯構成に比べて高くなっている。（表7-7）

表7-7 近所付き合いの程度－性、年齢階級、地域、世帯構成（世代）別

		総数	お互いに訪問し合う	立ち話をする程度の	あいさつをする程度の	付き合いがない	無回答
総数		100.0 (4,711)	12.1	39.6	35.1	11.5	1.8
性別	男	100.0 (2,138)	6.4	34.2	44.4	13.8	1.3
	女	100.0 (2,573)	16.8	44.0	27.4	9.6	2.2
年齢階級別	65～69歳	100.0 (981)	8.0	36.6	40.8	14.2	0.5
	70～74歳	100.0 (1,304)	11.3	40.7	35.4	11.5	1.0
	75～79歳	100.0 (1,036)	13.4	42.7	32.9	9.6	1.4
	80～84歳	100.0 (744)	15.5	42.5	31.7	7.5	2.8
	85歳以上	100.0 (646)	13.8	33.4	33.3	15.0	4.5
地域別	区部 計	100.0 (3,205)	11.8	38.0	36.0	12.1	2.1
	区中央部	100.0 (305)	10.2	39.3	37.0	11.5	2.0
	区南部	100.0 (361)	12.2	34.3	37.4	13.9	2.2
	区西南部	100.0 (449)	12.7	33.9	37.9	13.6	2.0
	区西部	100.0 (442)	8.6	41.6	36.4	10.9	2.5
	区西北部	100.0 (650)	9.5	39.5	37.7	11.5	1.7
	区東北部	100.0 (466)	15.9	36.3	31.5	13.9	2.4
	区東部	100.0 (532)	13.5	39.8	34.4	10.2	2.1
	市町村部 計	100.0 (1,506)	12.7	42.9	33.2	10.2	1.1
	西多摩	100.0 (105)	24.8	37.1	30.5	7.6	-
	南多摩	100.0 (541)	10.5	40.3	35.7	12.0	1.5
	北多摩西部	100.0 (212)	10.8	43.9	31.1	13.2	0.9
	北多摩南部	100.0 (385)	14.0	43.4	32.7	9.1	0.8
北多摩北部	100.0 (263)	11.8	49.0	31.6	6.5	1.1	
（世帯構成）別	単身世帯（ひとりぐらし）	100.0 (1,047)	13.5	34.6	32.0	18.1	1.9
	一世代（配偶者と二人暮らし）	100.0 (1,732)	10.5	41.5	38.0	8.4	1.6
	二世帯	100.0 (1,364)	13.0	41.1	34.6	9.6	1.7
	三世帯	100.0 (287)	11.8	40.1	35.5	11.5	1.0

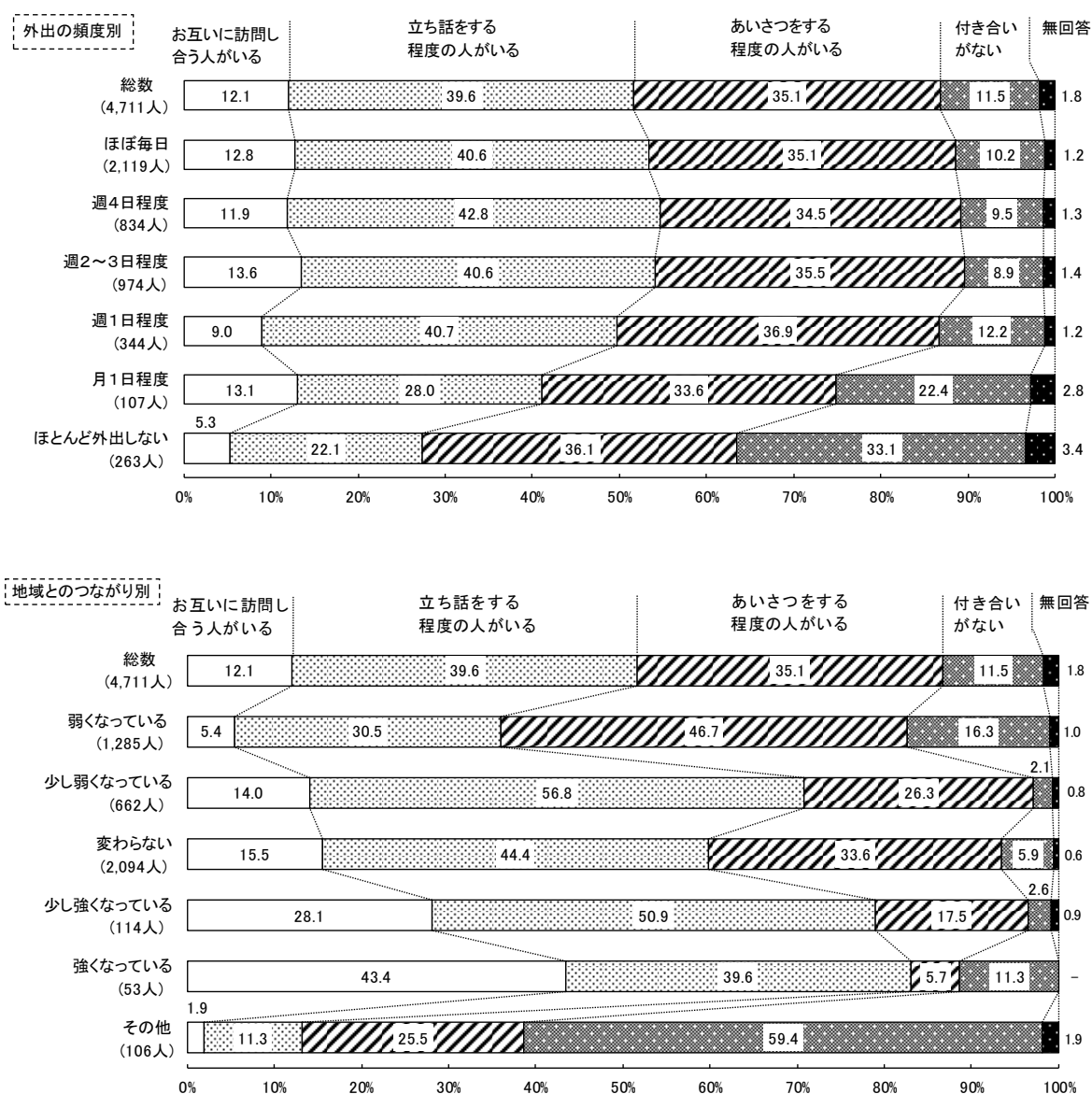
(2) 近所付き合いの程度－外出の頻度、地域とのつながり別

近所との「付き合いがない」割合は、ほとんど外出しない人では33.1%

近所付き合いの程度を外出の頻度別にみると、「付き合いがない」の割合は、ほとんど外出しない人では33.1%で、総数の割合(11.5%)よりも21.6ポイント高くなっている。

地域とのつながり別にみると、強くなっていると感じている人では、「お互いに訪問し合う人がある」の割合が43.4%となっている。(図7-5)

図7-5 近所付き合いの程度－外出の頻度、地域とのつながり別

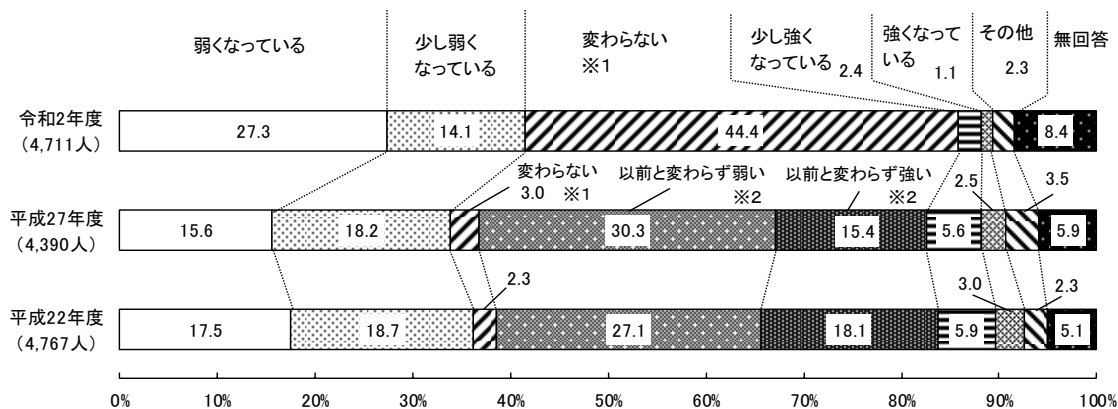


4 地域とのつながり

「変わらない」の割合が最も高く、4割超

地域とのつながり（近所付き合い、交流など）について以前と比べてどのように感じているか聞いたところ、「変わらない」の割合が44.4%で最も高く、次いで「弱くなっている」が27.3%となっている。（図7-6）

図7-6 地域とのつながりー過去調査との比較



(注1) ※1は、平成22年度及び平成27年度調査では選択肢を設けておらず、「その他」の回答の中で「変わらない」と回答した数値である。

(注2) ※2は、令和2年度調査では選択肢を設けていない。

(1) 地域とのつながり—性、年齢階級、地域別

男女ともに「変わらない」の割合がそれぞれ 47.3%、42.1%と最も高い

地域とのつながりを性別で見ると、男女ともに、「変わらない」の割合が最も高く(47.3%、42.1%)、次いで「弱くなっている」(27.3%、27.2%)となっている。

地域別にみると、区部、市町村部においても、「変わらない」の割合が最も高く(41.6%～48.7%)、次いで「弱くなっている」(23.2%～31.2%)となっている。(表7-8)

表 7-8 地域とのつながり—性、年齢階級、地域別

		総数	弱くなっている	少し弱くなっている	変わらない	少し強くなっている	強くなっている	その他	無回答
総数		100.0 (4,711)	27.3	14.1	44.4	2.4	1.1	2.3	8.4
性別	男	100.0 (2,138)	<u>27.3</u>	13.0	<u>47.3</u>	2.5	1.4	2.1	6.4
	女	100.0 (2,573)	<u>27.2</u>	14.9	<u>42.1</u>	2.4	0.9	2.4	10.1
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,285)	27.7	13.7	48.8	2.8	1.3	2.4	3.3
	75～84歳	100.0 (1,780)	26.7	14.8	44.2	2.6	0.8	2.4	8.7
	85歳以上	100.0 (646)	27.4	13.2	29.9	0.8	1.4	1.5	25.9
地域別	区部 計	100.0 (3,205)	27.1	13.3	44.5	2.3	1.0	2.4	9.4
	区中央部	100.0 (305)	<u>27.5</u>	13.4	<u>43.9</u>	2.6	2.6	1.3	8.5
	区南部	100.0 (361)	<u>23.5</u>	13.0	<u>44.3</u>	2.5	1.7	2.8	12.2
	区西南部	100.0 (449)	<u>27.2</u>	12.7	<u>47.0</u>	2.2	0.9	3.3	6.7
	区西部	100.0 (442)	<u>28.3</u>	12.4	<u>43.9</u>	3.4	0.9	2.7	8.4
	区西北部	100.0 (650)	<u>29.1</u>	11.7	<u>44.5</u>	2.8	0.6	2.0	9.4
	区東北部	100.0 (466)	<u>26.2</u>	15.5	<u>43.8</u>	1.1	0.2	2.1	11.2
	区東部	100.0 (532)	<u>26.3</u>	14.8	<u>43.8</u>	1.9	1.1	2.3	9.8
	市町村部 計	100.0 (1,506)	27.8	15.6	44.4	2.6	1.3	2.0	6.3
	西多摩	100.0 (105)	<u>27.6</u>	18.1	<u>45.7</u>	2.9	-	1.9	3.8
	南多摩	100.0 (541)	<u>31.2</u>	15.7	<u>41.6</u>	1.8	1.5	3.0	5.2
	北多摩西部	100.0 (212)	<u>25.9</u>	11.8	<u>46.7</u>	4.7	0.9	1.4	8.5
北多摩南部	100.0 (385)	<u>27.0</u>	16.6	<u>43.9</u>	1.0	2.1	1.6	7.8	
北多摩北部	100.0 (263)	<u>23.2</u>	16.0	<u>48.7</u>	4.6	0.8	1.1	5.7	

(2) 地域とのつながり－健康状態、世帯類型、1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別

健康状態がよくない人ほど、「弱くなっている」の割合が高い

健康状態別にみると、健康状態がよくない人ほど、「弱くなっている」の割合が高く、健康状態がよい人が23.0%なのに対し、よくない人は57.0%で、34.0ポイント高くなっている。

1年間に行った活動の状況別にみると、「弱くなっている」の割合は、この1年間に活動した人で23.3%、活動はしていない人で31.6%と活動はしていないの方が8.3ポイント高くなっている。(表7-9)

表7-9 地域とのつながり

－健康状態、世帯類型、1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別

		総数	い弱くなる	な少弱くなる	変わらない	な少強くなる	い強くなる	その他	無回答
総数		100.0 (4,711)	27.3	14.1	44.4	2.4	1.1	2.3	8.4
健康状態別	よい	100.0 (788)	<u>23.0</u>	12.1	55.2	3.6	2.4	2.4	1.4
	まあよい	100.0 (926)	23.8	16.5	51.2	4.0	1.3	1.3	1.9
	ふつう	100.0 (1,834)	28.5	15.9	48.5	1.9	0.8	2.6	1.9
	あまりよくない	100.0 (664)	42.0	15.7	34.8	1.4	0.9	2.9	2.4
	よくない	100.0 (114)	<u>57.0</u>	9.6	24.6	1.8	0.9	2.6	3.5
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	27.7	13.2	45.3	2.4	1.2	2.5	7.7
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	28.3	10.8	42.4	2.5	1.7	4.3	10.0
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	27.4	14.7	48.4	2.2	0.6	1.2	5.5
	その他	100.0 (157)	26.8	14.6	35.0	3.8	2.5	3.2	14.0
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	27.0	15.3	43.7	2.6	0.9	1.7	8.8
1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別	この1年間に活動した	100.0 (2,094)	<u>23.3</u>	16.3	50.5	3.7	1.6	1.3	3.2
	趣味・学習・スポーツ活動	100.0 (1,764)	24.0	15.6	50.6	3.8	1.5	1.4	3.0
	自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動	100.0 (516)	13.0	19.2	53.9	6.2	3.9	0.8	3.1
	地域行事(地域の催し物の運営、祭りの世話役など)を支援する活動	100.0 (337)	14.2	16.0	55.5	6.8	5.6	0.6	1.2
	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	100.0 (291)	14.1	14.4	56.0	7.6	5.5	0.7	1.7
	地域の伝統や文化を伝える活動	100.0 (128)	8.6	18.0	57.8	7.0	5.5	1.6	1.6
	防犯や災害時の救援・支援をする活動	100.0 (148)	14.2	15.5	54.1	6.1	7.4	1.4	1.4
	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	100.0 (103)	16.5	11.7	55.3	5.8	6.8	1.9	1.9
	障害のある人を支援する活動	100.0 (96)	25.0	14.6	44.8	7.3	6.3	1.0	1.0
	子供の登校の見守りや学習の支援	100.0 (86)	12.8	25.6	50.0	3.5	5.8	2.3	-
	青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	100.0 (41)	14.6	9.8	63.4	-	9.8	2.4	-
	介護が必要な高齢者を支援する活動	100.0 (86)	18.6	19.8	44.2	5.8	4.7	2.3	4.7
	子育てを支援する活動	100.0 (61)	18.0	19.7	54.1	1.6	3.3	3.3	-
	外国人を支援する活動	100.0 (35)	17.1	8.6	54.3	11.4	2.9	5.7	-
	その他	100.0 (30)	20.0	23.3	43.3	6.7	-	3.3	3.3
活動はしていない	100.0 (2,190)	<u>31.6</u>	12.1	38.9	1.4	0.5	3.0	12.5	

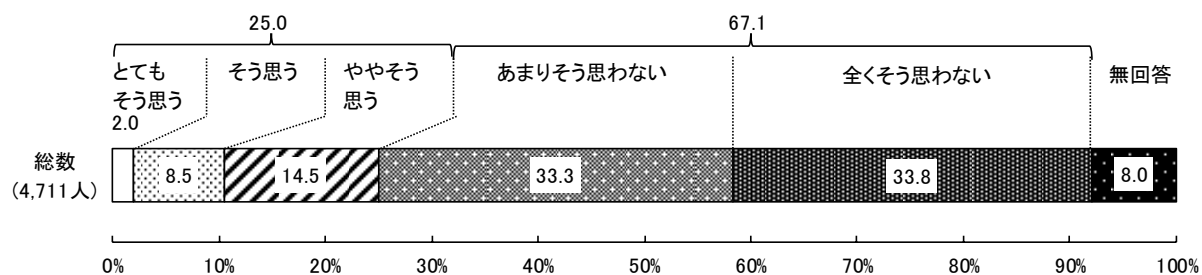
5 地域の人から何か役割を期待されているか

地域の人から何か役割を期待されているかについては、「全くそう思わない」、「あまりそう思わない」の割合がいずれも3割超

地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思うか聞いたところ、「とてもそう思う」と「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が25.0%となっている。

また、「全くそう思わない」、「あまりそう思わない」の割合がいずれも3割を超えている(33.8%、33.3%)。(図7-7)

図7-7 地域の人から何か役割を期待されているか



(1) 地域の人から何か役割を期待されているか—性、年齢階級、地域別

地域の人から何か役割を期待されているかを性別で見ると、「とてもそう思う」と「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、男性 23.9%、女性 25.9%となっている。

地域別で見ると、「とてもそう思う」と「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、区部 24.5%、市町村部 26.0%となっている。(表 7-10)

表 7-10 地域の人から何か役割を期待されているか—性、年齢階級、地域別

		総数	とても そう 思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	無 回 答
総数		100.0 (4,711)	2.0	8.5	14.5	33.3	33.8	8.0
性別	男	100.0 (2,138)	2.1	8.5	13.3	35.0	35.2	5.9
	女	100.0 (2,573)	1.9	8.6	15.5	31.9	32.5	9.7
年齢 階級 別	65～74歳	100.0 (2,285)	1.8	7.9	14.9	36.5	36.1	2.8
	75～84歳	100.0 (1,780)	2.4	10.4	15.2	32.2	31.3	8.4
	85歳以上	100.0 (646)	1.2	5.4	11.0	25.2	32.2	24.9
地域 別	区部 計	100.0 (3,205)	1.9	8.5	14.1	32.4	34.3	8.9
	区中央部	100.0 (305)	3.6	8.2	15.1	30.2	35.1	7.9
	区南部	100.0 (361)	2.2	6.6	13.3	33.0	33.2	11.6
	区西南部	100.0 (449)	0.7	8.0	12.7	37.0	35.2	6.5
	区西部	100.0 (442)	1.4	9.3	12.7	33.3	36.0	7.5
	区西北部	100.0 (650)	1.5	8.3	13.8	31.4	35.8	9.1
	区東北部	100.0 (466)	2.1	7.9	14.6	29.6	35.0	10.7
	区東部	100.0 (532)	2.3	10.3	16.4	32.3	29.7	9.0
	市町村部 計	100.0 (1,506)	2.1	8.6	15.3	35.3	32.7	6.0
	西多摩	100.0 (105)	1.9	17.1	20.0	27.6	28.6	4.8
	南多摩	100.0 (541)	1.7	6.3	15.2	35.3	36.8	4.8
	北多摩西部	100.0 (212)	1.9	9.4	14.2	36.3	29.7	8.5
北多摩南部	100.0 (385)	3.4	9.1	12.2	37.7	30.6	7.0	
北多摩北部	100.0 (263)	1.5	8.4	19.4	33.8	31.2	5.7	

(2) 地域の人から何か役割を期待されているか

－世帯類型、1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別

地域の人から何か役割を期待されているかを世帯類型別でみると、「とてもそう思う」と「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、高齢者のみの世帯で24.1%、高齢者以外（65歳未満）がいる世帯で26.0%となっている。

1年間に行った活動の状況別でみると、「とてもそう思う」と「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、この1年間に活動した人で38.9%、活動はしていない人で12.3%とこの1年間に活動した人の方が、26.6ポイント高くなっている。特に地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動、青少年の健やかな成長・非行防止のための活動を行った人では8割を超えている。（表7-11）

表7-11 地域の人から何か役割を期待されているか

－世帯類型、1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別

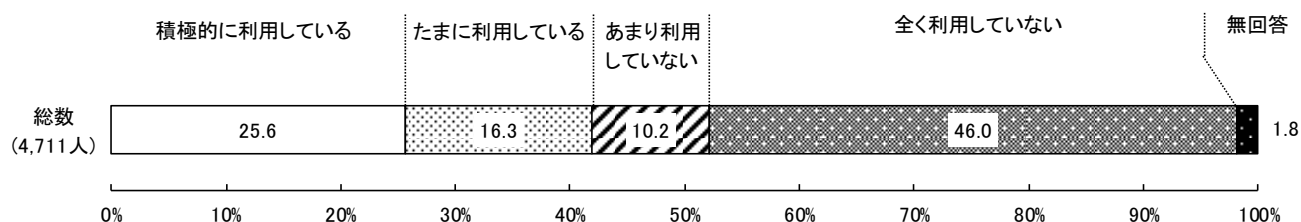
		総数	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
総数		100.0 (4,711)	2.0	8.5	14.5	33.3	33.8	8.0
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	1.7	7.6	14.8	34.3	34.6	7.0
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	1.9	6.3	13.4	28.5	41.0	9.0
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	1.4	8.6	15.8	39.1	30.2	4.9
	その他	100.0 (157)	3.2	6.4	14.6	28.0	33.8	14.0
	高齢者以外（65歳未満）がいる世帯	100.0 (1,677)	2.1	10.3	13.7	32.6	32.6	8.8
この1年間に活動した		100.0 (2,094)	3.5	14.0	21.3	35.3	22.8	3.0
1年間に 行った活動の 状況〔複数 回答〕別	趣味・学習・スポーツ活動	100.0 (1,764)	3.1	12.5	19.4	37.5	24.8	2.7
	自治会、町内会、老人クラブ、NPO 団体などの役員・事務局活動	100.0 (516)	9.3	31.2	30.8	19.2	7.0	2.5
	地域行事（地域の催し物の運営、祭りの 世話役など）を支援する活動	100.0 (337)	11.9	38.9	31.2	13.6	3.3	1.2
	環境保全、環境美化、リサイクルなど の活動	100.0 (291)	11.7	30.6	24.7	23.0	7.9	2.1
	地域の伝統や文化を伝える活動	100.0 (128)	14.8	39.8	21.1	16.4	7.0	0.8
	防犯や災害時の救援・支援をする活動	100.0 (148)	16.9	37.2	25.0	17.6	2.0	1.4
	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者 を支援する活動	100.0 (103)	18.4	35.9	24.3	16.5	2.9	1.9
	障害のある人を支援する活動	100.0 (96)	11.5	28.1	20.8	25.0	13.5	1.0
	子供の登校の見守りや学習の支援	100.0 (86)	15.1	27.9	18.6	27.9	9.3	1.2
	青少年の健やかな成長・非行防止の ための活動	100.0 (41)	19.5	41.5	24.4	14.6	-	-
	介護が必要な高齢者を支援する活動	100.0 (86)	11.6	23.3	17.4	33.7	10.5	3.5
	子育てを支援する活動	100.0 (61)	18.0	13.1	19.7	32.8	14.8	1.6
	外国人を支援する活動	100.0 (35)	2.9	14.3	22.9	37.1	22.9	-
	その他	100.0 (30)	6.7	10.0	20.0	50.0	10.0	3.3
活動はしていない		100.0 (2,190)	0.5	3.3	8.5	31.7	44.1	11.9

6 インターネットや情報通信機器の利用状況

「積極的に利用している」割合は、25.6%

インターネットやスマートフォンなどの情報端末を、買い物、仕事、学習など、普段の生活で利用しているか聞いたところ、「積極的に利用している」の割合が25.6%、「全く利用していない」が46.0%となっている。(図7-8)

図 7-8 インターネットや情報通信機器の利用状況



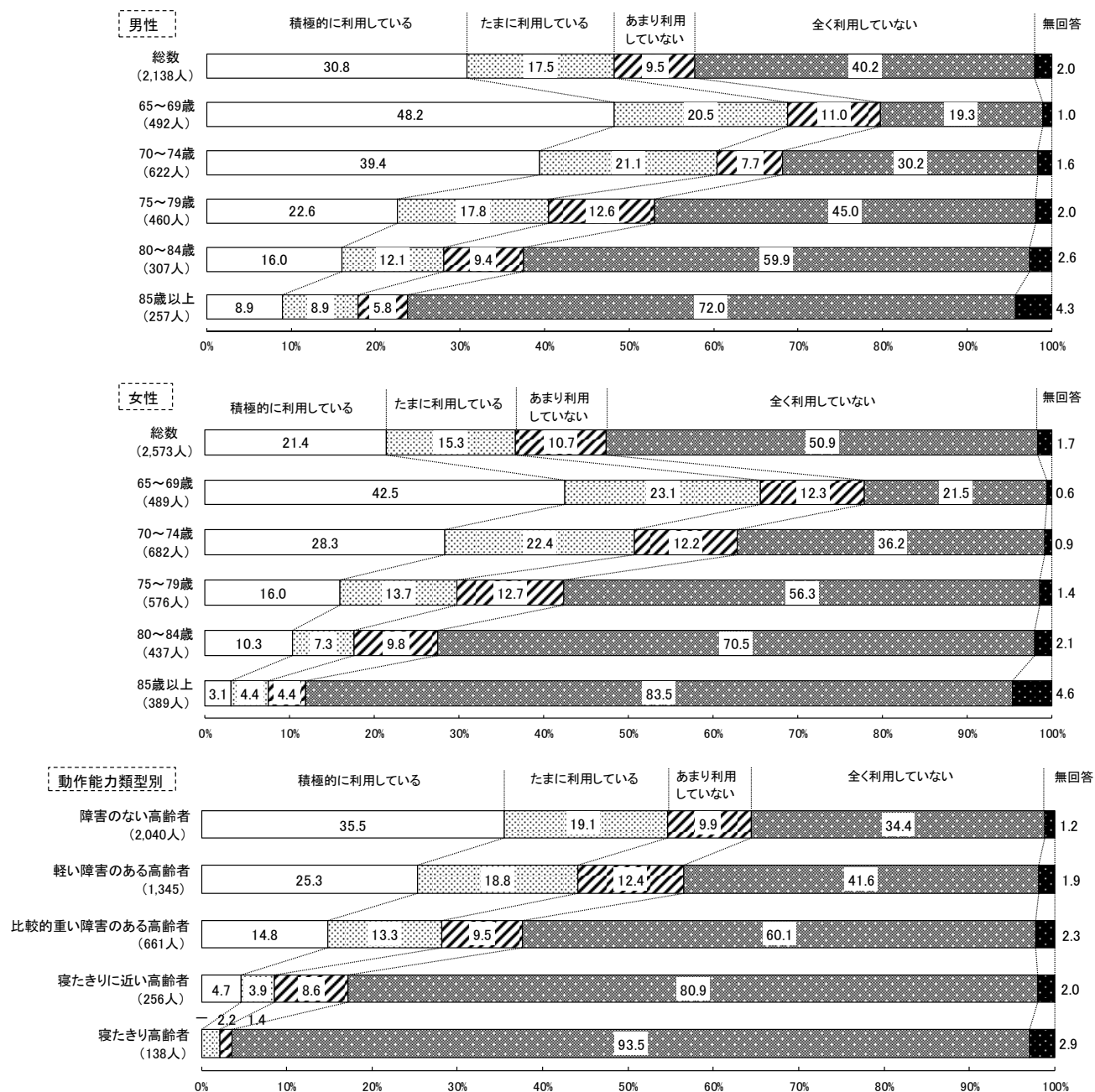
(1) インターネットや情報通信機器の利用状況—性・年齢階級、動作能力類型別

「積極的に利用している」割合は、男女とも 65～69 歳で 4 割超

インターネットや情報通信機器の利用状況を性別で見ると、「積極的に利用している」割合は、男性 30.8%、女性 21.4%で、男性の方が 9.4 ポイント高くなっている。

年齢階級別で見ると、男女とも 65 歳～69 歳では、「積極的に利用している」割合が 4 割を超えている（男性 48.2%、女性 42.5%）。（図 7-9）

図 7-9 インターネットや情報通信機器の利用状況—性・年齢階級、動作能力類型別

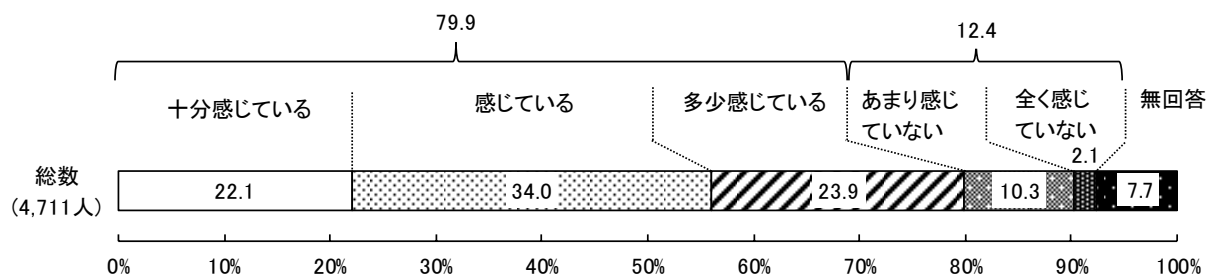


7 生きがいを感じているか

生きがいを感じている人は約8割

現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じているか聞いたところ、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合が79.9%となっている。一方、「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせた割合は12.4%となっている。（図7-10）

図7-10 生きがいを感じているか



(1) 生きがいを感じているかー性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合は、
障害のない高齢者では約9割

生きがいを感じているかを性別でみると、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合が、男性 80.9%、女性 79.1%となっている。

動作能力類型別でみると、「十分感じている」と「感じている」と「多少感じている」を合わせた割合は、障害のない高齢者では89.5%となっている。(表7-12)

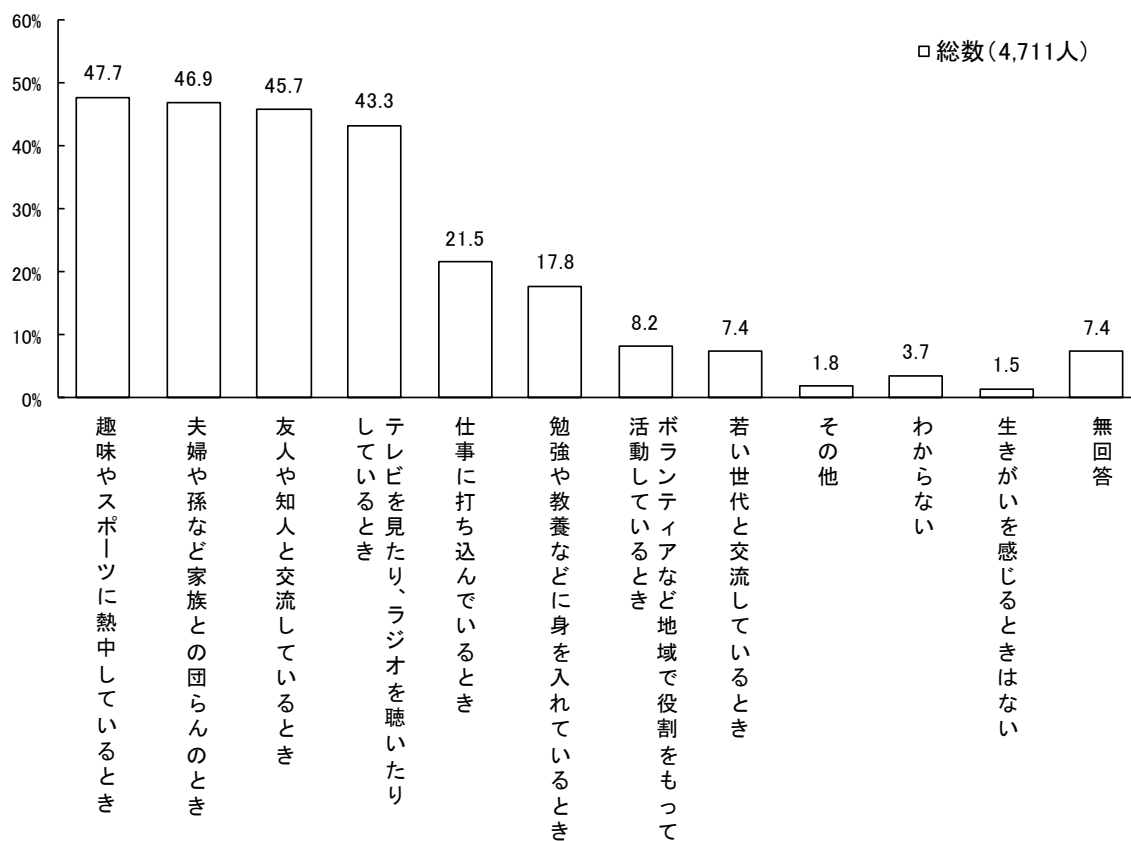
表 7-12 生きがいを感じているかー性、年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

		総数	十分感じている	感じている	多少感じている	あまり感じていない	全く感じていない	無回答
総数		100.0 (4,711)	22.1	34.0	23.9	10.3	2.1	7.7
性別	男	100.0 (2,138)	20.7	34.7	25.5	10.9	2.6	5.6
	女	100.0 (2,573)	23.2	33.4	22.6	9.8	1.7	9.4
			80.9					
			79.1					
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,285)	23.7	36.1	25.1	10.6	1.9	2.5
	75～84歳	100.0 (1,780)	22.5	34.6	23.2	9.3	2.4	8.0
	85歳以上	100.0 (646)	15.0	24.6	21.7	11.9	1.9	24.9
動作能力類型別	寝たきりなど的高齢者	100.0 (394)	5.1	13.2	15.5	14.2	2.5	49.5
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (661)	14.4	26.9	29.0	15.9	4.5	9.2
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,345)	20.7	36.3	28.1	10.3	1.7	3.0
	障害のない高齢者	100.0 (2,040)	29.1	39.2	21.2	7.5	1.1	2.0
			89.5					
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	21.5	34.4	24.5	10.5	2.4	6.8
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	18.1	28.9	26.6	13.8	4.0	8.6
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	23.9	38.7	23.4	7.9	1.2	4.8
	その他	100.0 (157)	20.4	29.9	21.0	12.7	2.5	13.4
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	22.3	34.4	23.4	9.9	1.5	8.5

8 生きがいを感じる時〔複数回答〕

生きがい（喜びや楽しみ）を感じる時はどのようなときか聞いたところ、「趣味やスポーツに熱中しているとき」、「夫婦や孫など家族との団らんのとき」、「友人や知人と交流しているとき」、「テレビを見たり、ラジオを聴いたりしているとき」の割合がいずれも4割を超えている（47.7%～43.3%）。（図7-11）

図7-11 生きがいを感じる時〔複数回答〕



(1) 生きがいを感じる時〔複数回答〕—性、年齢階級、世帯類型別

男性は、「趣味やスポーツに熱中しているとき」の割合が 51.4%で最も高く、女性は、「友人や知人と交流しているとき」の割合が、53.1%で最も高い。

生きがいを感じる時を性別でみると、男性では、「趣味やスポーツに熱中しているとき」の割合が 51.4%で最も高く、次いで「夫婦や孫など家族との団らんのとき」が 45.8%となっている。女性では、「友人や知人と交流しているとき」の割合が 53.1%で最も高く、次いで「夫婦や孫など家族との団らんのとき」が、47.7%となっている。また、「仕事に打ち込んでいるとき」の割合は、男性 27.6%、女性 16.5%と、男性の方が 11.1 ポイント高くなっている。(表 7-13)

表 7-13 生きがいを感じる時〔複数回答〕—性、年齢階級、世帯類型別

		総数	仕事に打ち込んでいるとき	勉強や教養などに身を入れて いるとき	趣味やスポーツに熱中して いるとき	夫婦や孫など家族との団ら んのとき	友人や知人と交流している とき	テレビを見たり、ラジオを 聴いたりしているとき	ボランティアなど地域で役割 をもって活動しているとき	若い世代と交流しているとき	その他	わからない	生きがいを感じる時はない	無回答
総数		100.0 (4,711)	21.5	17.8	47.7	46.9	45.7	43.3	8.2	7.4	1.8	3.7	1.5	7.4
性別	男	100.0 (2,138)	<u>27.6</u>	18.7	<u>51.4</u>	<u>45.8</u>	36.9	41.6	8.5	6.4	1.5	3.9	1.4	5.7
	女	100.0 (2,573)	<u>16.5</u>	17.1	44.7	<u>47.7</u>	<u>53.1</u>	44.7	7.9	8.2	2.1	3.5	1.6	8.9
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,285)	30.2	21.3	56.4	53.2	49.1	42.4	8.2	8.1	2.1	3.2	1.4	2.4
	75～84歳	100.0 (1,780)	15.6	16.0	44.3	43.5	46.5	47.2	9.7	7.4	1.5	3.4	1.9	7.6
	85歳以上	100.0 (646)	7.3	10.5	26.5	33.7	31.6	35.6	3.7	4.6	2.0	5.7	1.1	24.6
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	19.7	19.2	49.0	45.6	46.6	42.7	8.2	7.5	1.9	3.7	1.7	6.6
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	20.3	16.9	43.1	21.1	45.1	42.8	5.7	7.7	2.6	4.3	3.2	8.2
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	19.8	20.6	53.3	64.5	47.6	43.8	9.9	7.4	1.4	3.0	0.9	4.6
	その他	100.0 (157)	14.0	21.7	47.1	30.6	47.8	31.8	8.3	6.4	1.9	7.0	-	14.6
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	24.3	16.8	47.5	50.3	46.2	45.4	8.5	7.2	1.9	3.6	1.3	8.2

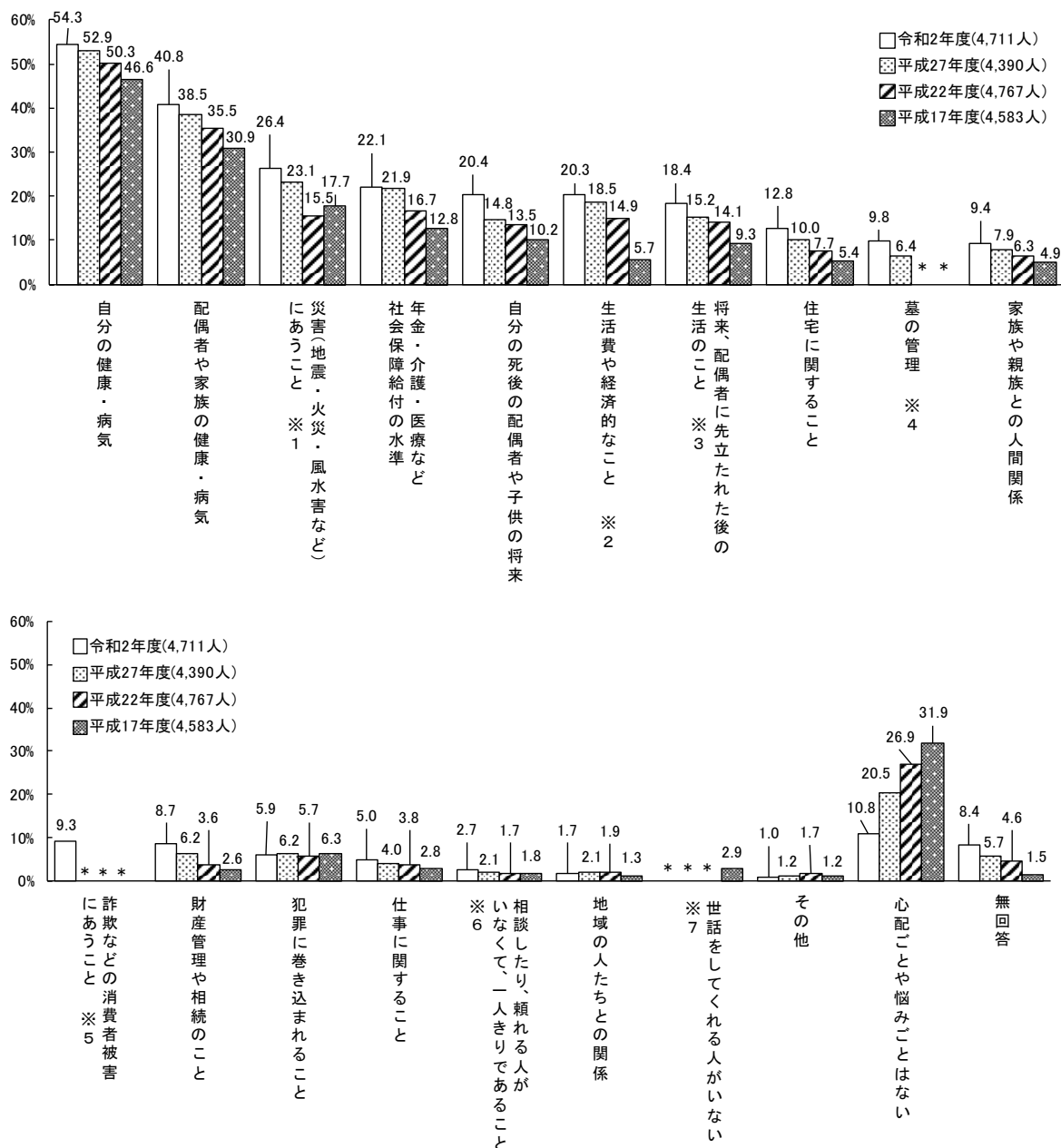
9 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕

「自分の健康・病気」の割合が最も高く、54.3%

現在、心配ごとや悩みごとがあるか聞いたところ、「自分の健康・病気」の割合が54.3%で最も高く、次いで「配偶者や家族の健康・病気」が40.8%となっている。

一方、「心配ごとや悩みはない」の割合は、平成17年度調査(31.9%)から減少を続け、10.8%となっている。(図7-12)

図7-12 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕—過去調査との比較



(注1) ※1は、平成17年度から平成27年度調査では「地震などの災害にあうこと」としていた。
 (注2) ※2は、平成17年度調査では「家計が苦しい」としていた。
 (注3) ※3は、平成17年度調査及び平成22年度調査では「配偶者に先立たれた後の生活のこと」としていた。
 (注4) ※4は、平成17年度及び平成22年度調査では選択肢を設けていなかった。
 (注5) ※5は、平成17年度から平成27年度調査では選択肢を設けていなかった。
 (注6) ※6は、平成17年度調査では「頼れる人がいなくて、一人きりである」としていた。
 (注7) ※7は、平成22年度から令和2年度調査では選択肢を設けていない。

(1) 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕－性、世帯構成(世代)、住宅の種類別

男女とも「自分の健康・病気」の割合が最も高く、それぞれ5割超

心配ごとや悩みごとの内容を性別でみると、男女とも、「自分の健康・病気」の割合が最も高く、5割を超えている（男性56.6%、女性52.5%）。また、「将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと」の割合は、男性22.1%、女性15.3%で、男性の方が高くなっている。

世帯構成（世代）別にみると、単身世帯（ひとり暮らし）は「相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりである」の割合が8.0%で、他の世帯に比べて高くなっている。また、一世代（配偶者と二人暮らし）は、「配偶者や家族の健康・病気」の割合が56.7%、「将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと」が31.7%で、他の世帯構成に比べて高くなっている。

住宅の種類別にみると、民間賃貸住宅に住む人は、「生活費や経済的なこと」の割合が45.3%、「年金・介護・医療など社会保障給付の水準」が31.8%、「住宅に関すること」が31.5%で、それぞれ総数の割合（20.3%、22.1%、12.8%）と比べて高くなっている。（表7-14）

表7-14 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕－性、世帯構成(世代)、住宅の種類別

	総数	自分の健康・病気	配偶者や家族の健康・病気	家族や親族との人間関係	相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりであること	地域の人たちとの関係	生活費や経済的なこと	年金・介護・医療など社会保障給付の水準	住宅に関すること	仕事に関すること	財産管理や相続のこと	詐欺などの消費者被害にあうこと	犯罪に巻き込まれること	災害（地震・火災・風水害など）にあうこと	将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと	自分の死後の配偶者や子供の将来	墓の管理	その他	心配ごとや悩みごとはない	無回答	
総数	100.0 (4,711)	54.3	40.8	9.4	2.7	1.7	20.3	22.1	12.8	5.0	8.7	9.3	5.9	26.4	18.4	20.4	9.8	1.0	10.8	8.4	
性別	男	100.0 (2,138)	56.6	43.9	9.8	3.5	1.8	22.0	23.8	12.5	7.6	10.4	7.8	6.0	24.1	22.1	22.6	11.6	0.7	12.3	6.1
	女	100.0 (2,573)	52.5	38.3	9.1	2.1	1.6	18.9	20.8	13.1	2.9	7.2	10.5	5.8	28.4	15.3	18.6	8.3	1.3	9.4	10.4
世帯構成別	単身世帯（ひとり暮らし）	100.0 (1,047)	56.4	12.5	8.2	8.0	1.5	22.4	20.4	16.8	5.2	7.0	10.4	6.6	25.7	1.4	6.4	8.2	1.4	12.8	9.3
	一世代（配偶者と二人暮らし）	100.0 (1,732)	54.8	56.7	8.9	1.0	2.0	18.4	22.5	10.3	4.6	9.0	8.9	6.1	26.3	31.7	23.3	11.3	0.8	10.9	5.5
	二世帯 ※1	100.0 (1,364)	54.0	43.8	10.3	1.3	1.6	21.3	23.6	13.6	5.0	9.2	9.2	5.6	26.8	17.0	30.3	10.6	1.0	9.3	9.5
	三世帯 ※2	100.0 (287)	48.4	38.7	11.1	1.4	1.0	17.1	19.2	8.7	6.6	12.5	10.1	4.2	28.9	10.5	16.0	5.9	1.0	10.1	13.2
住宅の種類別	持家（一戸建て）	100.0 (2,790)	55.3	45.7	9.6	2.0	1.9	15.5	19.7	11.4	3.6	11.1	10.3	6.7	30.0	20.8	22.8	10.6	0.9	10.6	7.6
	持家（分譲マンションなど）	100.0 (911)	54.8	39.7	11.0	2.4	1.4	17.5	22.9	6.1	4.5	8.2	8.2	4.4	23.4	16.5	19.0	9.3	0.8	12.3	6.1
	民間賃貸住宅	100.0 (537)	56.2	30.0	7.1	7.1	0.4	45.3	31.8	31.5	11.5	2.0	7.8	6.0	18.4	13.6	16.4	6.7	1.1	11.5	4.1
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (84)	53.6	31.0	8.3	1.2	6.0	27.4	33.3	13.1	2.4	-	9.5	6.0	19.0	20.2	20.2	11.9	2.4	7.1	15.5
	都市再生機構・住宅供給公社などの公的賃貸住宅	100.0 (81)	54.3	33.3	8.6	3.7	4.9	34.6	37.0	17.3	11.1	3.7	9.9	4.9	22.2	19.8	25.9	16.0	2.5	9.9	6.2
	借家（一戸建て）	100.0 (56)	42.9	26.8	8.9	5.4	1.8	39.3	26.8	28.6	10.7	1.8	5.4	3.6	26.8	21.4	12.5	8.9	5.4	8.9	10.7
	高齢者向け住宅 ※3	100.0 (78)	30.8	12.8	3.8	2.6	-	9.0	10.3	1.3	-	2.6	3.8	-	10.3	2.6	1.3	6.4	1.3	2.6	60.3
	その他	100.0 (70)	57.1	28.6	14.3	4.3	1.4	28.6	20.0	17.1	12.9	4.3	8.6	7.1	22.9	11.4	5.7	10.0	1.4	7.1	8.6

(注1) 二世帯※1とは、「二世帯（親と同居）」と「二世帯（子供と同居）」の合計値である。

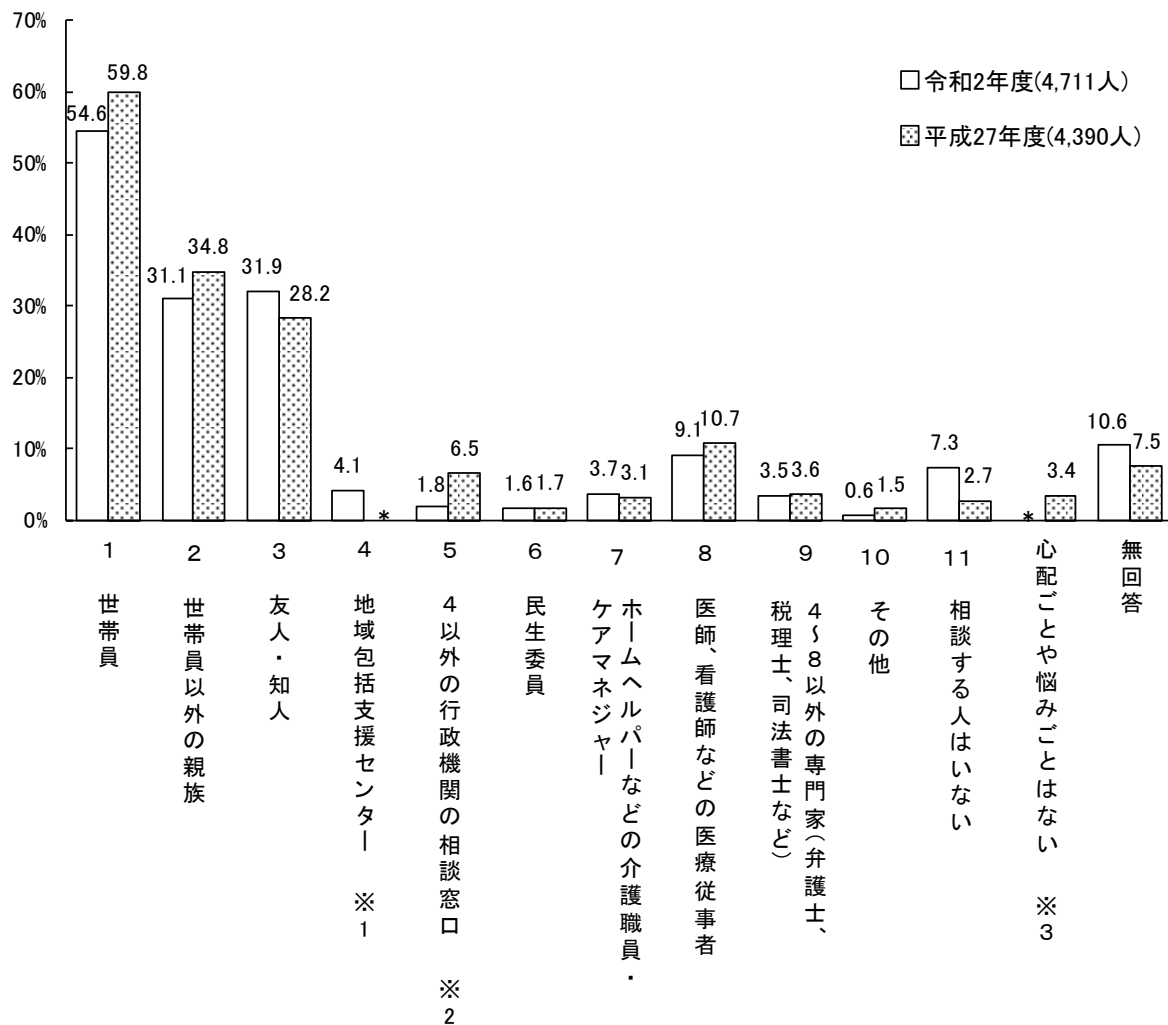
(注2) 三世帯※2とは、「三世帯（親、子供と同居）」と「三世帯（子供、孫（またはその配偶者）と同居）」の合計値である。

10 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕

「世帯員」の割合が最も高く、54.6%

心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談するか聞いたところ、「世帯員」の割合が54.6%で最も高く、次いで「友人・知人」が31.9%、「世帯員以外の親族」が31.1%となっている。(図7-13)

図7-13 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕－平成27年度調査との比較



(注1) ※1は、平成27年度では選択肢を設けていなかった。

(注2) ※2は、平成27年度では「行政機関の相談窓口」としていた。

(注3) ※3は、令和2年度では選択肢を設けていない。

(1) 心配ごとや悩み事の相談相手〔複数回答〕一性、世帯構成(世代)別

男女とも「世帯員」の割合が最も高くなっている(男性 59.3%、女性 50.6%)

心配ごとや悩みごとができた場合、誰に相談するのかを性別でみると、男性では「世帯員」の割合が 59.3%で最も高く、次いで「世帯員以外の親族」が 24.6%となっている。女性では「世帯員」の割合が 50.6%で最も高く、次いで「友人・知人」が 38.6%となっている。「世帯員」については、男性の方が 8.7 ポイント高く、「世帯員以外の親族」は 11.9 ポイント、「友人・知人」は 14.7 ポイント、女性の方が高くなっている。

世帯構成(世代)別にみると、単身世帯(ひとりぐらし)では「相談する人はいない」の割合が 14.6%で、他の世帯構成に比べて高い割合になっている。(表 7-15)

表 7-15 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕一性、世帯構成(世代)別

		総数	1 世帯員	2 世帯員以外の親族	3 友人・知人	4 地域包括支援センター	5 4以外の行政機関の相談窓口	6 民生委員	7 介護職員・ヘルパーなどの ホームヘルプケアマネジャー	8 従事者 医師、看護師などの医療	9 税理士、司法書士など 4以外の専門家(弁護士、)	10 その他	11 相談する人はいない	無回答
総数		100.0 (4,711)	54.6	31.1	31.9	4.1	1.8	1.6	3.7	9.1	3.5	0.6	7.3	10.6
性別	男	100.0 (2,138)	<u>59.3</u>	<u>24.6</u>	<u>23.9</u>	4.0	2.2	2.0	3.9	11.6	4.6	0.6	11.4	7.7
	女	100.0 (2,573)	<u>50.6</u>	<u>36.5</u>	<u>38.6</u>	4.1	1.5	1.2	3.5	7.0	2.5	0.6	4.0	13.1
(世代)別 世帯構成	単身世帯 (ひとりぐらし)	100.0 (1,047)	-	38.8	37.2	4.5	2.5	2.6	5.0	9.3	3.0	0.6	<u>14.6</u>	16.2
	一世代 (配偶者と二人暮らし)	100.0 (1,732)	72.9	32.7	32.1	5.3	1.8	1.3	3.9	9.2	3.9	0.5	5.2	5.8
	二世帯 ※1	100.0 (1,364)	71.3	26.0	29.3	2.8	1.3	0.9	2.1	9.2	3.4	0.7	5.1	10.6
	三世帯 ※2	100.0 (287)	70.4	24.7	25.4	2.8	1.7	1.4	3.8	8.0	3.5	-	2.8	14.6

(注1) ※1とは、「二世帯(親と同居)」と「二世帯(子供と同居)」の合計値である。

(注2) ※2とは、「三世帯(親、子供と同居)」と「三世帯(子供、孫(またはその配偶者)と同居)」の合計値である。

11 地域包括支援センターの認知度

「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合が14.3%

地域包括支援センターを利用したことがあるか聞いたところ、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合が14.3%、「利用したことはないが、何をしているところか知っている」が22.4%で、いずれも平成27年度調査（12.8%、18.3%）と比べて増加している。

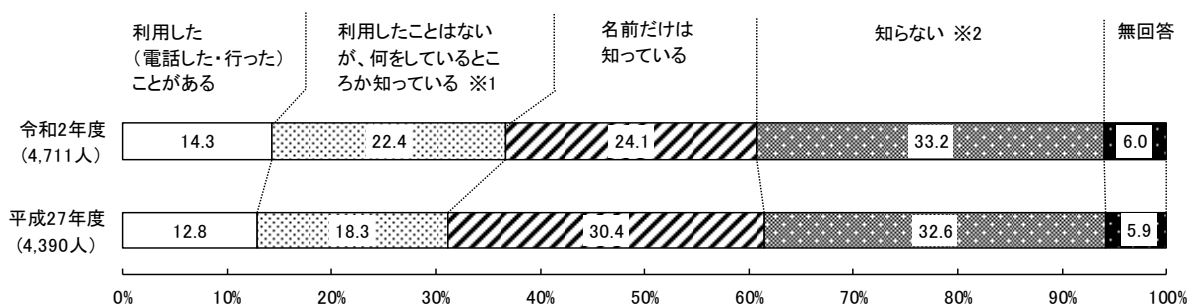
一方、「知らない」の割合は33.2%となっている。（図7-14）

※ 地域包括支援センターについて

高齢者が住み慣れた地域で、健康で生き生きとした生活を送れるよう、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの職員が高齢者やその家族などを総合的に支援する窓口のこと。各区市町村が設置しており、地域によっては、親しみやすい名称で呼んでいる場合もある。

例：高齢者総合相談センター、高齢者あんしん相談センター、おとしより相談センター、あんしんすこやかセンター、熟年相談室など

図7-14 地域包括支援センターの認知度－平成27年度調査との比較



（注1）※1は、平成27年度調査では「何をしているところか知っている」としていた。

（注2）※2は、平成27年度調査では「知らなかった」としていた。

(1) 地域包括支援センターの認知度—性、年齢階級、世帯類型別

「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、年齢階級が上がるにつれて高くなっている

地域包括支援センターの認知度を性別でみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、男性 10.0%、女性 17.8%で、女性の方が 7.8 ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、年齢階級が上がるにつれて高くなっている（9.3%～29.7%）。一方、「知らない」の割合は、65～74 歳では、40.0%となっている。

世帯類型別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、高齢者のみの世帯は 14.9%、高齢者以外（65 歳未満）がいる世帯は 13.5%となっている。（表 7-16）

表 7-16 地域包括支援センターの認知度—性、年齢階級、世帯類型別

		総数	利用した ことがある (電話した・ 行った)	利用した ところ は知らない が、何を	名前 だけは 知っている	知らない	無 回答
総数		100.0 (4,711)	14.3	22.4	24.1	33.2	6.0
性別	男	100.0 (2,138)	10.0	18.3	26.3	40.6	4.7
	女	100.0 (2,573)	17.8	25.8	22.2	27.0	7.2
年齢 階級 別	65～74歳	100.0 (2,285)	9.3	24.0	24.1	40.0	2.6
	75～84歳	100.0 (1,780)	15.1	23.0	26.8	28.9	6.2
	85歳以上	100.0 (646)	29.7	15.2	16.4	20.9	17.8
世帯 類型 別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	14.9	23.7	24.1	32.0	5.3
	ひとり暮らし	100.0 (1,047)	17.0	21.7	22.1	32.9	6.4
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	12.5	25.7	25.5	32.2	4.1
	その他	100.0 (157)	23.6	17.8	23.6	24.8	10.2
	高齢者以外(65歳未満) がいる世帯	100.0 (1,677)	13.5	21.8	24.2	34.2	6.3

(2) 地域包括支援センターの認知度

－介護の状況、動作能力類型、要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無別

要介護認定を受けている人では、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合が4割超

地域包括支援センターの認知度を介護の状況別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、介護をしている人では26.8%、介護をしていない人では12.0%で、介護をしている人の方が14.8ポイント高くなっている。

動作能力類型別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、寝たきりなどの高齢者が40.6%で最も高くなっている。

要介護認定申請の有無別にみると、認定を受けている人は、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合が46.6%で最も高く、総数の割合（14.3%）と比べて高い割合となっている。（表7-17）

表7-17 地域包括支援センターの認知度

－介護の状況、動作能力類型、要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無別

	総数	ご利用が ある （電話 した・ 行っ た）	利 用 し た こ と は な い が 、 何 を	名 前 だ け は 知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答	
総数	100.0 (4,711)	14.3	22.4	24.1	33.2	6.0	
介護 状況 別	介護をしている	100.0 (672)	26.8	25.4	19.3	24.3	4.2
	介護をしていない	100.0 (3,932)	12.0	21.9	25.0	34.8	6.2
動作 能力 類 型 別	寝たきりなどの高齢者	100.0 (394)	40.6	7.6	8.9	12.7	30.2
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (661)	19.2	17.5	22.1	33.9	7.3
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,345)	11.1	22.8	26.9	36.4	2.8
	障害のない高齢者	100.0 (2,040)	9.6	27.5	26.0	34.1	2.7
要 介 護 認 定 申 請 の 有 無 別	認定を申請していない	100.0 (3,462)	8.6	25.9	26.8	35.5	3.1
	認定を申請中	100.0 (14)	28.6	14.3	14.3	21.4	21.4
	認定を申請したが、 「非該当(自立)」と認定された	100.0 (20)	30.0	-	35.0	20.0	15.0
	認定を受けている	100.0 (706)	46.6	7.5	11.3	15.9	18.7

第8章 社会参加

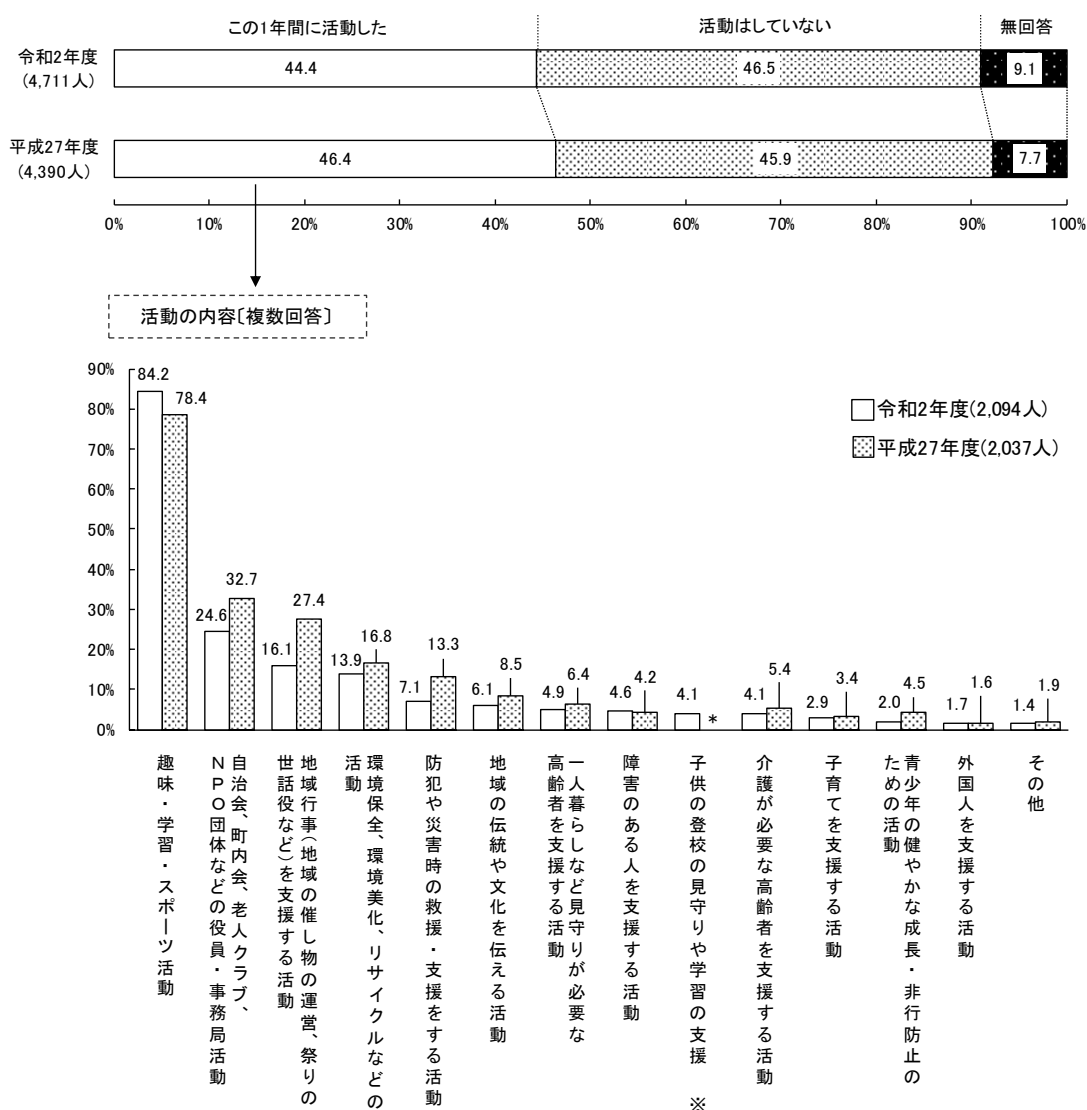
1 1年間に行った活動の状況と活動内容〔複数回答〕

1年間に趣味やスポーツ、地域活動などを行ったか聞いたところ、「この1年間に活動した」の割合が44.4%で、「活動はしていない」が46.5%となっている。

「この1年間に活動した人」と回答した人(2,094人)にどのような活動を行ったかについて聞いたところ、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が84.2%で最も高く、次いで「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」が24.6%となっている。

平成27年度調査と比べて、「地域行事(地域の催し物の運営、祭りの世話役など)を支援する活動」は11.3ポイント、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」は8.1ポイント減少している。(図8-1)

図8-1 1年間に行った活動の状況と活動内容〔複数回答〕－平成27年度調査との比較



(1) 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性・年齢階級別

「この1年間に活動した」割合は、男女ともに4割超

この1年間に行った活動を性別で見ると、「この1年間に活動した」の割合は、男性44.3%、女性44.6%となっている。活動内容は、男女とも「趣味・学習・スポーツ活動」の割合がそれぞれ36.6%、38.1%で最も高く、次いで「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」で、それぞれ11.9%、10.2%となっている。(表8-1)

表8-1 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	この1年間に活動した	趣味・学習・スポーツ活動	自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動	地域行事(地域の催し物の運営、祭りの世話役など)を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答	
総数	100.0 (4,711)	44.4	37.4	11.0	7.2	6.2	2.7	3.1	2.2	2.0	1.8	0.9	1.8	1.3	0.7	0.6	46.5	9.1	
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	<u>44.3</u>	<u>36.6</u>	<u>11.9</u>	8.8	6.4	3.7	4.6	1.6	1.8	2.2	1.3	1.7	0.6	1.0	0.7	47.1	8.6
	65～69歳	100.0 (492)	48.4	41.5	13.0	9.1	5.5	4.3	4.7	0.8	2.0	2.2	1.4	2.4	0.6	1.2	0.4	44.1	7.5
	70～74歳	100.0 (622)	48.9	42.0	11.9	9.3	7.2	3.2	5.0	1.1	2.7	2.3	1.6	1.9	0.6	1.8	1.0	43.2	7.9
	75～79歳	100.0 (460)	42.2	33.9	13.5	10.7	6.7	4.8	5.4	3.3	0.9	2.4	1.1	1.3	0.4	0.4	1.1	49.3	8.5
	80～84歳	100.0 (307)	39.7	31.6	10.4	7.2	6.5	3.3	3.3	2.0	1.0	2.3	1.0	1.3	1.0	0.3	0.3	48.5	11.7
	85歳以上	100.0 (257)	34.6	25.3	8.6	5.8	5.4	2.3	3.9	1.2	1.6	1.9	1.2	0.8	-	0.4	0.8	56.8	8.6
	女	100.0 (2,573)	<u>44.6</u>	<u>38.1</u>	<u>10.2</u>	5.8	6.0	1.9	1.9	2.6	2.3	1.5	0.5	1.9	1.9	0.5	0.5	45.9	9.5
	65～69歳	100.0 (489)	52.1	45.0	10.2	5.3	5.1	2.5	1.6	2.7	2.5	1.6	0.8	2.5	3.7	0.2	0.6	41.5	6.3
	70～74歳	100.0 (682)	51.6	46.8	9.8	7.5	6.6	1.6	1.5	2.6	2.6	1.8	0.3	2.5	2.1	0.7	0.7	41.2	7.2
	75～79歳	100.0 (576)	47.6	40.5	12.0	8.7	9.4	3.3	4.5	4.0	3.0	2.4	0.7	2.3	1.6	0.9	0.3	40.6	11.8
80～84歳	100.0 (437)	39.8	31.4	11.9	3.7	5.3	1.4	0.7	3.0	1.8	0.7	0.5	1.8	1.1	0.2	0.2	49.0	11.2	
85歳以上	100.0 (389)	23.7	18.5	6.2	1.3	1.8	0.3	0.5	0.3	0.8	0.3	0.3	-	0.8	0.5	0.8	64.3	12.1	

(2) 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－地域別

「この1年間に活動した」割合は、区部よりも市町村部の方が高い

この1年間に行った活動を地域別にみると、「この1年間に活動した」の割合は、区部 42.6%、市町村部 48.5%で、市町村部の方が5.9ポイント高くなっている。

活動内容をみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合は、区部 35.7%、市町村部 41.2%で市町村部の方が5.5ポイント高くなっている。(表 8-2)

表 8-2 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－地域別

	総数	この1年間に活動した	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、祭りの世話役などを支援する活動	地域行事(地域の催し物の運営、祭りの世話役など)を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答
総数	100.0 (4,711)	44.4	37.4	11.0	7.2	6.2	2.7	3.1	2.2	2.0	1.8	0.9	1.8	1.3	0.7	0.6	46.5	9.1	
区部 計	100.0 (3,205)	42.6	35.7	10.1	6.5	5.4	2.5	3.1	2.0	1.5	1.4	0.7	1.7	1.4	0.8	0.8	48.2	9.2	
区中央部	100.0 (305)	49.8	41.0	13.1	11.5	6.9	4.6	4.3	2.0	1.6	2.0	0.7	3.3	1.3	2.0	0.7	45.2	4.9	
区南部	100.0 (361)	38.5	32.7	10.5	5.8	5.0	1.1	3.0	2.2	0.3	1.7	0.3	1.9	0.8	-	1.1	51.5	10.0	
区西南部	100.0 (449)	45.4	40.5	6.0	2.7	2.9	1.6	0.7	2.0	0.4	0.9	0.2	1.6	1.6	0.9	0.7	45.7	8.9	
区西部	100.0 (442)	47.5	42.3	8.4	5.7	5.7	2.7	2.7	1.4	1.6	1.1	0.9	0.9	1.8	0.5	0.9	44.3	8.1	
区西北部	100.0 (650)	40.9	34.5	9.7	6.5	4.3	2.2	3.7	2.0	2.3	1.4	0.9	1.1	1.2	0.8	1.2	48.5	10.6	
区東北部	100.0 (466)	33.7	26.0	8.4	4.9	4.3	2.4	2.8	2.4	1.5	1.3	0.4	2.1	1.3	1.1	0.6	54.7	11.6	
区東部	100.0 (532)	44.4	35.0	15.0	9.6	8.8	3.2	4.1	2.3	2.3	1.9	1.1	2.1	1.9	0.6	0.6	47.2	8.5	
市町村部 計	100.0 (1,506)	48.5	41.2	12.7	8.5	7.9	3.3	3.3	2.5	3.1	2.7	1.3	2.0	1.0	0.7	0.2	42.8	8.8	
西多摩	100.0 (105)	58.1	46.7	21.9	14.3	18.1	4.8	4.8	5.7	2.9	3.8	2.9	1.0	1.0	1.0	-	39.0	2.9	
南多摩	100.0 (541)	48.6	41.6	13.1	9.6	8.7	3.7	3.9	1.5	3.1	2.0	0.9	1.5	1.1	0.7	0.4	43.1	8.3	
北多摩西部	100.0 (212)	45.3	35.8	14.6	8.0	3.8	3.8	1.4	1.4	2.8	3.8	0.9	1.9	-	0.5	0.5	43.9	10.8	
北多摩南部	100.0 (385)	49.6	43.9	9.4	7.5	6.5	2.6	3.6	4.4	3.1	2.1	1.3	2.3	0.8	0.8	-	41.3	9.1	
北多摩北部	100.0 (263)	45.2	38.8	11.8	5.7	7.6	2.3	2.7	1.5	3.4	3.4	1.5	3.0	1.9	0.4	-	44.9	9.9	

(3) 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕

－健康状態、外出の頻度、地域とのつながり別

健康状態がよくない人ほど、「この1年間に活動した」割合は低い

この1年間に行った活動を健康状態別にみると、健康状態がよくない人ほど、「この1年間に活動した」の割合は、低くなっている（61.0%～16.7%）。

外出の頻度別にみると、外出の頻度が低くなるにつれて、「この1年間に活動した」の割合は低くなっている（51.5%～9.5%）。特に、ほとんど外出しない人は、「活動はしていない」の割合が78.7%で、約8割となっている。

地域とのつながり別にみると、地域とのつながりについて少し強くなっている、強くなっていると感じている人は、「この1年間に活動した」の割合が、それぞれ67.5%、62.3%と6割を超えている。また、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」の割合（28.1%、37.7%）、「地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動」の割合（20.2%、35.8%）は、総数の割合（11.0%、7.2%）と比べて高い割合になっている。（表8-3）

表 8-3 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕

－健康状態、外出の頻度、地域とのつながり別

	総数	この1年間に活動した	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動	祭りの世話役など（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答
総数	100.0 (4,711)	44.4	37.4	11.0	7.2	6.2	2.7	3.1	2.2	2.0	1.8	0.9	1.8	1.3	0.7	0.6	46.5	9.1			
健康状態別	よい	100.0 (788)	61.0	54.4	15.4	10.4	10.0	4.3	4.7	3.6	4.1	2.8	3.1	1.0	2.5	1.8	2.3	0.9	0.5	31.9	7.1
	まあよい	100.0 (926)	58.2	50.3	15.8	11.1	9.4	3.9	5.0	3.8	2.8	3.1	1.0	2.5	1.8	1.9	0.9	0.9	35.0	6.8	
	ふつう	100.0 (1,834)	42.8	35.3	9.9	6.2	5.0	2.2	2.5	1.9	1.4	1.6	1.1	1.6	1.0	0.3	0.7	0.7	47.1	10.1	
	あまりよくない	100.0 (664)	28.3	21.7	6.5	4.2	3.2	2.3	1.7	0.6	1.4	0.9	0.5	1.1	0.9	0.5	0.5	61.3	10.4		
	よくない	100.0 (114)	16.7	12.3	5.3	0.9	1.8	0.9	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	16.7		
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,119)	51.5	44.4	12.7	9.2	8.2	3.7	4.4	3.1	3.0	2.5	1.3	2.7	1.9	1.0	0.9	0.9	39.8	8.7	
	週4回程度	100.0 (834)	50.0	42.7	12.2	7.7	7.0	2.2	2.9	2.3	2.4	1.6	0.7	1.8	1.3	1.0	0.8	43.5	6.5		
	週2～3回程度	100.0 (974)	42.5	35.6	10.2	5.2	4.0	2.6	2.1	1.0	0.9	1.7	0.6	0.9	0.3	0.6	0.3	48.8	8.7		
	週1日程度	100.0 (344)	28.8	20.6	7.3	4.1	4.1	1.7	1.2	1.5	0.6	0.6	-	0.9	0.6	-	-	60.8	10.5		
	月1日程度	100.0 (107)	19.6	13.1	2.8	2.8	1.9	-	2.8	2.8	0.9	-	0.9	0.9	0.9	-	-	66.4	14.0		
	ほとんど外出しない	100.0 (263)	9.5	5.7	3.8	1.1	0.4	0.4	0.8	-	0.4	-	-	0.4	0.8	-	-	78.7	11.8		
地域とのつながり別	弱くなっている	100.0 (1,285)	38.0	33.0	5.2	3.7	3.2	0.9	1.6	1.3	1.9	0.9	0.5	1.2	0.9	0.5	0.5	53.8	8.2		
	少し弱くなっている	100.0 (662)	51.7	41.5	15.0	8.2	6.3	3.5	3.5	1.8	2.1	3.3	0.6	2.6	1.8	0.5	1.1	40.0	8.3		
	変わらない	100.0 (2,094)	50.5	42.6	13.3	8.9	7.8	3.5	3.8	2.7	2.1	2.1	1.2	1.8	1.6	0.9	0.6	40.7	8.8		
	少し強くなっている	100.0 (114)	67.5	58.8	28.1	20.2	19.3	7.9	7.9	5.3	6.1	2.6	-	4.4	0.9	3.5	1.8	26.3	6.1		
	強くなっている	100.0 (53)	62.3	50.9	37.7	35.8	30.2	13.2	20.8	13.2	11.3	9.4	7.5	7.5	3.8	1.9	-	22.6	15.1		
	その他	100.0 (106)	26.4	23.6	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.9	1.9	0.9	1.9	1.9	1.9	0.9	62.3	11.3		

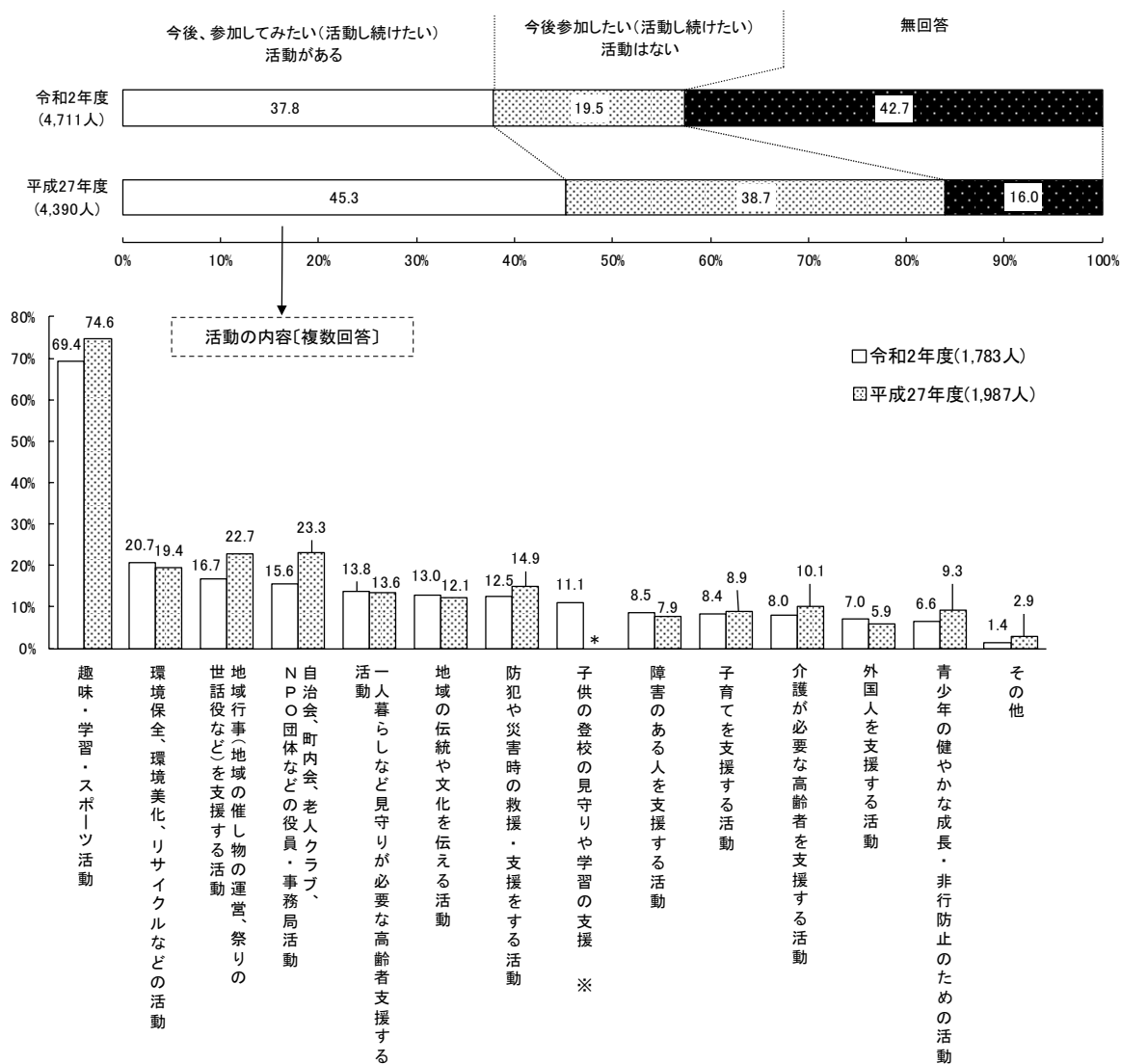
2 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕

「今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動がある」割合は、37.8%

今後の活動意向について聞いたところ、「今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動がある」割合は 37.8%で、「今後参加したい（活動し続けたい）活動はない」が 19.5%となっている。

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動がある人（1,783 人）に、どのような活動を行いたいと聞いたところ、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が 69.4%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」が 20.7%、「地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動」が 16.7%となっている。（図 8-2）

図 8-2 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕－平成 27 年度調査との比較



（注 1）令和 2 年度調査は、調査方法を郵送による自計式調査に変更しているため、平成 27 年度以前の調査結果と比較する場合には、無回答を含めた各項目の割合の変化に注意が必要である。

（注 2）※は、平成 27 年度調査では選択肢を設けていなかった。

(1) 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕一性・年齢階級別

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動内容は、男女とも、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高い

今後の活動意向を性別でみると、男性は、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が26.8%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」9.7%、「地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動」8.4%となっている。女性は、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が25.8%で最も高く、次いで「環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動」6.3%、「一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動」5.1%となっている。（表8-4）

表 8-4 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕一性・年齢階級別

	総数	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、祭りの世話役などを支援する活動	地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後参加したい（活動し続けたい）活動はない	無回答
総数	100.0 (4,711)	26.3	5.9	6.3	7.8	4.9	4.7	5.2	3.2	4.2	2.5	3.0	3.2	2.7	0.5	19.5	42.7	
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	26.8	7.7	8.4	9.7	6.6	7.2	5.4	3.7	5.5	3.6	3.4	2.6	3.3	0.5	20.7	38.4
	65～69歳	100.0 (492)	32.7	10.8	10.2	12.4	8.7	11.2	6.3	4.7	7.1	4.3	3.7	4.1	7.1	0.4	20.3	30.9
	70～74歳	100.0 (622)	29.9	7.7	10.6	12.5	8.2	7.9	6.1	3.9	6.1	3.5	3.7	3.7	3.7	0.6	19.5	33.3
	75～79歳	100.0 (460)	23.7	8.3	7.8	8.0	4.8	6.7	4.8	3.5	4.1	3.9	3.7	1.3	1.7	0.9	21.3	42.8
	80～84歳	100.0 (307)	25.4	5.5	5.5	7.5	5.5	4.2	4.6	2.0	5.5	3.3	3.6	1.6	1.0	-	21.8	39.4
	85歳以上	100.0 (257)	15.6	3.1	4.3	3.5	3.5	2.3	3.9	3.9	3.5	1.9	1.2	0.4	0.8	0.4	22.2	56.0
	女	100.0 (2,573)	25.8	4.5	4.5	6.3	3.5	2.6	5.1	2.8	3.1	1.6	2.8	3.7	2.1	0.5	18.5	46.2
	65～69歳	100.0 (489)	38.2	6.3	5.9	10.6	5.3	4.1	7.6	5.1	4.3	1.6	5.1	7.0	4.5	0.4	17.4	30.1
	70～74歳	100.0 (682)	32.3	4.4	5.4	7.5	4.7	3.7	7.3	2.9	5.1	2.3	3.2	5.4	2.9	1.0	17.3	38.7
	75～79歳	100.0 (576)	25.9	5.7	5.9	7.3	3.8	2.4	5.2	2.8	3.0	1.6	3.1	2.6	0.9	0.5	17.4	46.9
	80～84歳	100.0 (437)	16.9	3.7	2.7	1.8	1.4	1.1	1.8	2.1	0.9	0.9	0.7	0.9	0.7	-	21.5	56.8
	85歳以上	100.0 (389)	8.5	1.3	1.3	2.1	0.8	1.0	1.5	0.8	0.8	1.0	0.8	1.3	1.0	0.5	20.1	66.8

(2) 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕－地域別

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動内容は、区部、市町村部とも「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高い

今後の活動意向を地域別にみると、区部、市町村部とも「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が、それぞれ24.9%、29.1%で最も高くなっている。（表8-5）

表 8-5 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕－地域別

	総数	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、祭りの世話役などを支援する活動	地域の行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者を支援する活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後参加したい（活動し続けたい）	無回答
総数	100.0 (4,711)	26.3	5.9	6.3	7.8	4.9	4.7	5.2	3.2	4.2	2.5	3.0	3.2	2.7	0.5	19.5	42.7		
地区別	区部 計	100.0 (3,205)	24.9	5.6	5.6	7.1	4.5	4.1	4.5	2.8	4.0	2.4	2.5	3.2	2.8	0.5	19.8	44.1	
	区中央部	100.0 (305)	24.9	6.2	5.9	6.6	6.9	4.6	3.6	2.6	3.9	1.3	3.6	2.6	5.9	0.3	18.4	45.2	
	区南部	100.0 (361)	23.8	4.7	4.7	7.2	3.9	4.4	5.5	3.0	5.5	2.5	3.3	3.3	3.3	0.8	17.2	46.8	
	区西南部	100.0 (449)	27.2	3.1	5.3	8.0	3.8	3.8	4.2	2.9	3.6	2.2	1.8	3.3	3.8	0.7	20.0	41.0	
	区西部	100.0 (442)	23.3	4.3	5.0	6.6	5.4	5.0	5.0	2.9	3.8	2.5	1.8	3.6	2.9	0.5	17.9	46.8	
	区西北部	100.0 (650)	26.3	6.0	5.2	7.8	3.2	3.4	4.6	2.6	3.8	2.8	2.6	2.8	2.0	0.6	20.6	42.3	
	区東北部	100.0 (466)	21.0	6.2	4.7	3.6	4.7	2.8	2.8	1.9	3.6	2.1	2.1	2.4	0.9	0.2	21.0	47.9	
	区東部	100.0 (532)	26.9	7.7	8.1	9.2	4.9	5.5	5.3	3.4	3.9	2.6	2.4	4.3	2.4	0.4	21.6	41.0	
	市町村部 計	100.0 (1,506)	29.1	6.7	7.8	9.4	5.7	5.9	6.8	4.2	4.6	2.7	4.2	3.1	2.3	0.6	18.9	39.6	
	西多摩	100.0 (105)	25.7	7.6	13.3	10.5	7.6	11.4	7.6	4.8	2.9	3.8	5.7	3.8	2.9	-	22.9	35.2	
	南多摩	100.0 (541)	29.9	8.1	7.4	8.9	4.8	5.5	6.1	3.7	4.8	3.1	3.7	2.4	1.8	0.9	21.4	37.5	
	北多摩西部	100.0 (212)	27.8	7.1	10.8	9.0	4.7	5.2	9.0	3.3	5.2	1.9	5.7	4.2	2.4	0.5	17.0	40.6	
	北多摩南部	100.0 (385)	28.6	4.9	6.5	8.6	4.9	4.7	6.0	4.7	4.4	1.8	4.2	2.6	2.9	0.5	16.1	45.7	
北多摩北部	100.0 (263)	30.4	5.7	5.7	11.4	8.7	6.8	7.6	4.9	4.9	3.4	3.8	4.2	2.3	0.4	17.5	35.7		

(3) 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕

－健康状態、外出の頻度、地域とのつながり別

健康状態がよくない人ほど、「今後参加したい（活動し続けたい）活動はない」の割合は高くなっている

今後の活動意向を健康状態別にみると、健康状態がよくない人ほど、「今後参加したい（活動し続けたい）活動はない」の割合が高く、健康状態がよい人が 16.1%なのに対し、よくない人は 30.7%で、14.6 ポイント高くなっている。

地域とのつながり別にみると、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」、「地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動」、「地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動」、「地域の伝統や文化を伝える活動」、「子供の登校の見守りや学習の支援」の割合は、地域とのつながりが強くなっていると感じている人の方が、弱くなっていると感じている人に比べて 10 ポイント以上高くなっている。（表 8-6）

表 8-6 今後の活動意向と活動内容〔複数回答〕

－健康状態、外出の頻度、地域とのつながり別

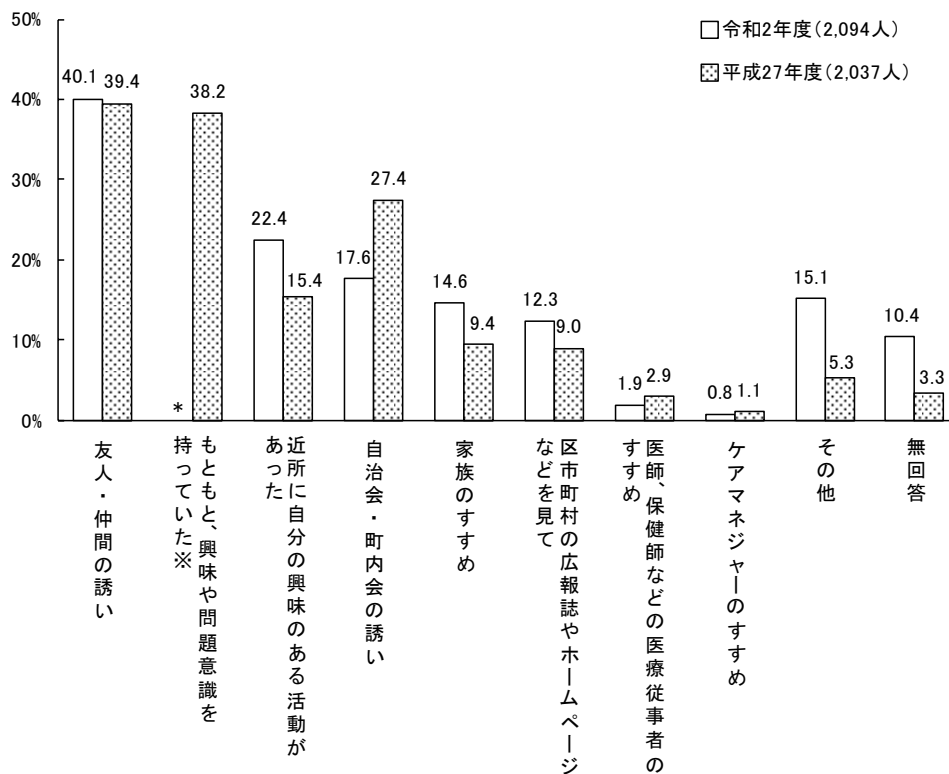
		総数	趣味・学習・スポーツ活動	NPO 自治会、町内会などの役員・事務局活動	祭りの世話役など（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	活動防犯や災害時の救援・支援をする	高齢者を支援する活動	一人暮らしなど見守りが必要な障害のある人を支援する活動	子供の登校の見守りや学習の支援	青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後参加したい（活動し続けたい）活動はない	無回答
総数		100.0 (4,711)	26.3	5.9	6.3	7.8	4.9	4.7	5.2	3.2	4.2	2.5	3.0	3.2	2.7	0.5	19.5	42.7
健康状態別	よい	100.0 (788)	32.7	8.5	9.0	10.0	6.5	7.4	6.0	4.2	6.0	3.0	4.8	4.8	4.4	0.6	<u>16.1</u>	37.2
	まあよい	100.0 (926)	30.6	8.2	8.5	10.5	6.7	6.2	6.4	4.3	6.5	3.0	3.2	4.0	4.5	0.9	18.9	35.6
	ふつう	100.0 (1,834)	28.1	5.3	6.2	8.0	4.7	4.5	5.9	3.2	3.1	2.4	3.1	2.6	1.8	0.4	20.5	38.9
	あまりよくない	100.0 (664)	22.9	4.4	3.3	6.0	3.5	2.9	3.5	2.9	4.1	2.6	2.3	3.2	1.8	0.3	29.4	39.6
	よくない	100.0 (114)	11.4	3.5	2.6	1.8	2.6	2.6	4.4	1.8	3.5	0.9	2.6	2.6	0.9	0.9	<u>30.7</u>	53.5
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,119)	29.1	7.4	7.9	10.1	6.6	6.0	6.7	4.3	5.9	3.3	4.1	4.1	3.9	0.7	17.4	39.2
	週4回程度	100.0 (834)	31.9	6.2	7.4	8.0	4.9	4.8	5.0	2.9	4.3	3.4	2.6	3.4	2.3	0.7	18.2	39.2
	週2～3回程度	100.0 (974)	25.3	4.5	4.9	6.5	3.2	4.1	4.0	2.4	2.2	1.1	2.6	2.0	1.6	0.3	21.7	42.8
	週1日程度	100.0 (344)	20.1	5.2	4.4	5.2	3.5	2.6	4.4	2.0	3.2	0.9	1.5	2.9	1.7	0.3	27.3	43.0
	月1日程度	100.0 (107)	14.0	1.9	-	1.9	1.9	-	1.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.9	-	-	18.7	60.7
	ほとんど外出しない	100.0 (263)	4.2	1.1	0.4	0.8	1.1	0.8	1.1	0.8	1.1	0.8	0.8	1.1	0.4	0.4	24.3	68.1
地域とのつながり別	弱くなっている	100.0 (1,285)	27.0	<u>4.6</u>	<u>5.4</u>	7.2	<u>3.9</u>	4.9	5.4	3.4	<u>3.9</u>	2.0	3.2	3.8	2.6	0.4	24.7	37.8
	少し弱くなっている	100.0 (662)	31.7	7.6	8.2	9.8	6.9	3.2	5.9	4.1	4.8	2.7	4.2	3.2	2.9	1.1	16.9	37.5
	変わらない	100.0 (2,094)	28.6	6.9	7.2	8.6	5.6	5.7	5.3	3.3	4.7	3.0	3.1	3.4	3.0	0.6	20.8	37.2
	少し強くなっている	100.0 (114)	32.5	12.3	11.4	15.8	5.3	10.5	13.2	7.0	5.3	3.5	5.3	1.8	5.3	-	7.0	42.1
	強くなっている	100.0 (53)	26.4	<u>20.8</u>	<u>18.9</u>	15.1	<u>17.0</u>	11.3	13.2	5.7	<u>15.1</u>	9.4	5.7	5.7	7.5	-	3.8	47.2
	その他	100.0 (106)	16.0	-	0.9	3.8	2.8	-	1.9	-	0.9	-	-	2.8	0.9	0.9	28.3	50.9

3 活動を始めたきっかけ〔複数回答〕

「友人・仲間の誘い」の割合が最も多く、約4割

この1年間に趣味やスポーツ、地域活動などを行った人(2,094人)に、活動を始めたきっかけを聞いたところ、「友人・仲間の誘い」の割合が40.1%で最も高く、次いで「近所に自分の興味のある活動があった」が22.4%となっている。(図8-3)

図8-3 活動を始めたきっかけ〔複数回答〕—平成27年度調査との比較



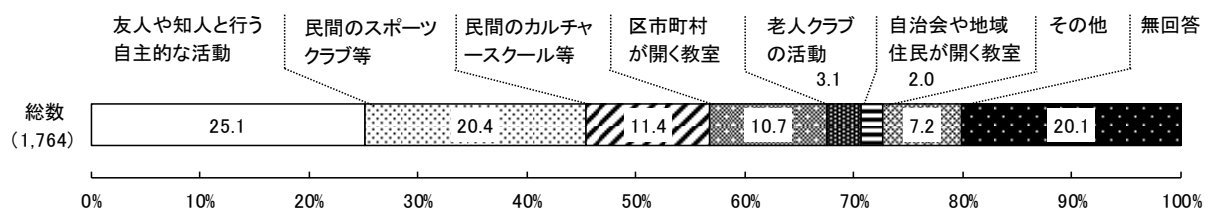
(注) ※は、令和2年度調査では選択肢を設けていない。

4 趣味・学習・スポーツ活動の実施主体

「友人や知人と行う自主的な活動」の割合が最も多く、25.1%

この1年間に活動を行った人(1,764人)に、参加されている活動の主体はどれか聞いたところ、「友人や知人と行う自主的な活動」の割合が25.1%で最も高く、次いで「民間のスポーツクラブ等」が20.4%となっている。(図8-4)

図8-4 趣味・学習・スポーツ活動の実施主体

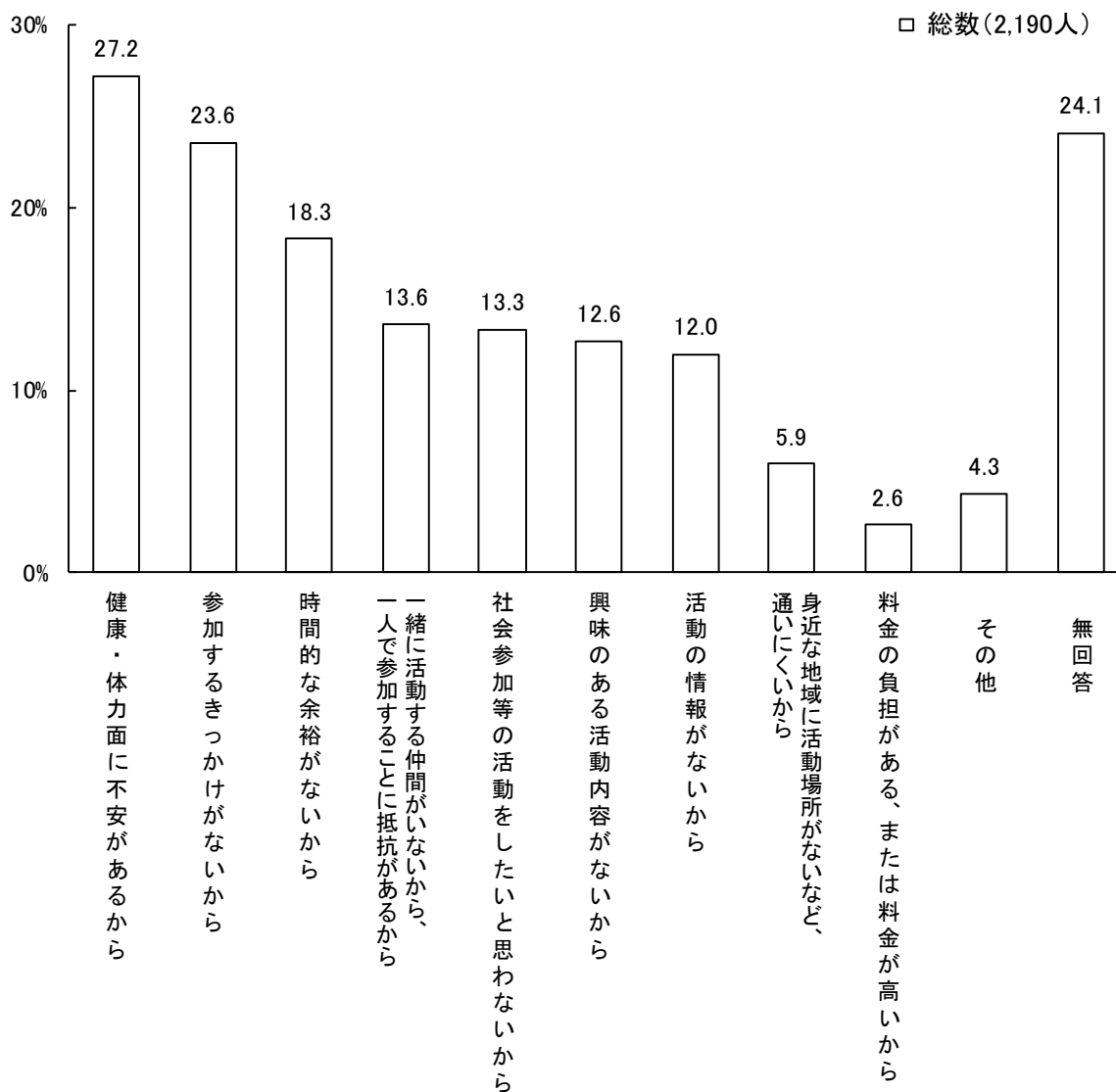


5 社会参加をしない理由〔複数回答〕

「健康・体力面に不安があるから」の割合が最も多く、27.2%

この1年間に趣味やスポーツ、地域活動などの活動はしていない人(2,190人)に、活動に参加しない理由を聞いたところ、「健康・体力面に不安があるから」の割合が27.2%で最も高く、次いで「参加するきっかけがないから」が23.6%、「時間的な余裕がないから」が18.3%となっている。(図8-5)

図8-5 社会参加をしない理由〔複数回答〕



(1) 社会参加をしない理由〔複数回答〕—性・年齢階級別

社会参加しない理由は男性では「参加するきっかけがないから」の割合が最も高く
女性では「健康・体力面に不安があるから」が最も高い

社会参加をしない理由を性別にみると、男性では、「参加するきっかけがないから」の割合が 27.6%で最も高く、次いで、「健康・体力面に不安があるから」が 25.5%となっている。女性では、「健康・体力面に不安があるから」の割合が 28.7%で最も高く、次いで、「参加するきっかけがないから」が 20.1%となっている。

性・年齢階級別でみると、65～69歳女性では、「時間的な余裕がないから」の割合が 34.5%で、総数の割合(18.3%)より高くなっている。(表 8-7)

表 8-7 社会参加をしない理由〔複数回答〕—性・年齢階級別

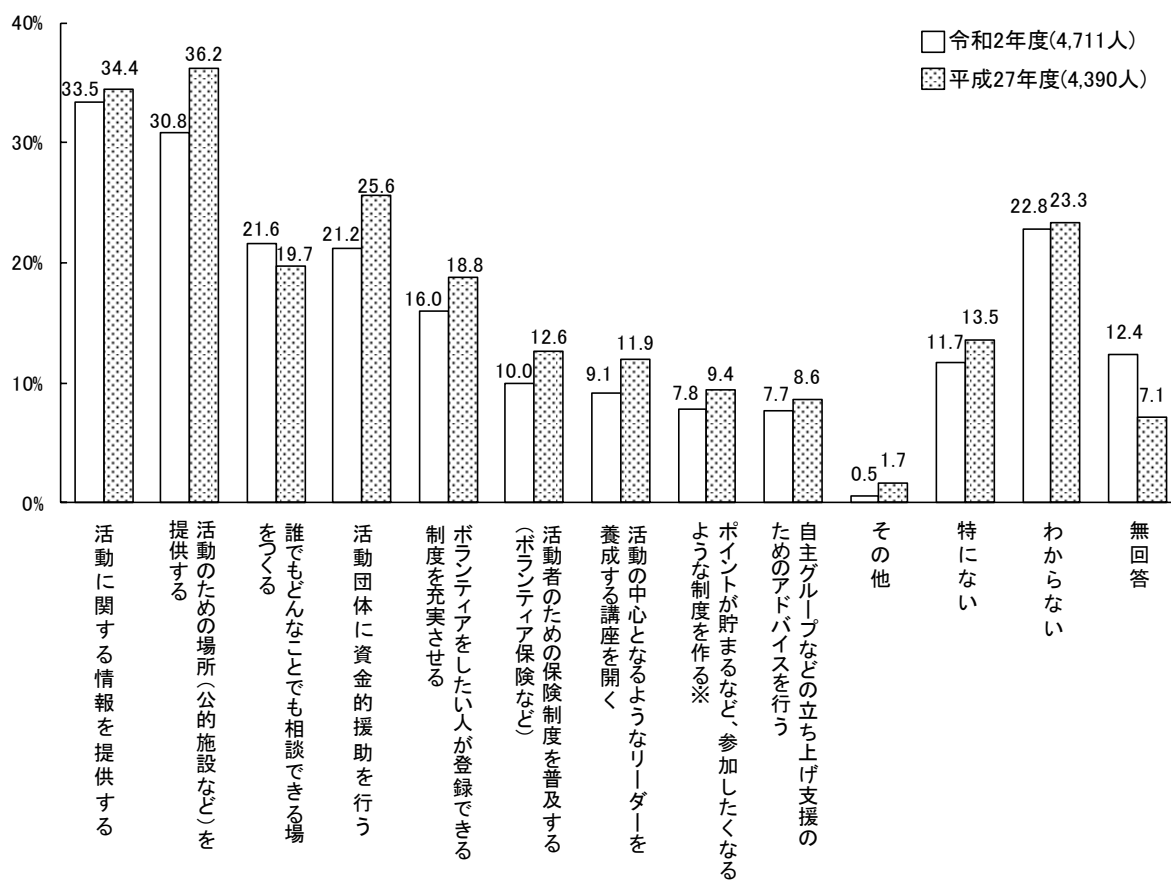
		総数	身近な地域に活動場所がないから	興味のある活動内容がないから	抵抗があるから	一緒に活動する仲間がいないから	料金の負担がある、または料金が安いから	時間的な余裕がないから	健康・体力面に不安があるから	参加するきっかけがないから	活動の情報がないから	社会参加等の活動をしたくないから	その他	無回答
総数		100.0 (2,190)	5.9	12.6	13.6	2.6	<u>18.3</u>	27.2	23.6	12.0	13.3	4.3	24.1	
性・年齢階級別	男	100.0 (1,008)	7.0	15.9	16.3	3.4	17.7	<u>25.5</u>	<u>27.6</u>	14.1	15.7	3.1	20.9	
	65～69歳	100.0 (217)	6.9	21.7	18.0	4.1	26.7	18.9	33.2	19.8	16.1	2.3	12.4	
	70～74歳	100.0 (269)	7.1	16.0	15.6	3.3	21.2	16.4	32.0	17.1	18.6	4.1	16.4	
	75～79歳	100.0 (227)	7.5	17.6	17.2	4.4	16.7	29.1	25.1	11.0	14.5	3.5	22.9	
	80～84歳	100.0 (149)	9.4	12.8	14.1	2.7	10.7	29.5	24.2	13.4	11.4	2.7	27.5	
	85歳以上	100.0 (146)	4.1	7.5	15.8	1.4	6.2	42.5	18.5	5.5	15.8	2.1	32.2	
	女	100.0 (1,182)	5.0	9.9	11.3	1.9	18.8	<u>28.7</u>	<u>20.1</u>	10.2	11.3	5.3	26.7	
	65～69歳	100.0 (203)	7.4	11.3	16.3	2.0	<u>34.5</u>	19.2	31.0	17.2	13.8	5.9	10.8	
	70～74歳	100.0 (281)	5.3	10.7	15.3	3.9	30.2	28.1	27.4	11.0	12.1	5.3	13.2	
	75～79歳	100.0 (234)	6.8	14.1	14.1	0.9	15.0	32.5	23.5	9.8	12.0	4.7	24.8	
80～84歳	100.0 (214)	3.7	10.7	6.1	2.3	10.3	30.4	13.1	9.8	10.7	4.2	35.0		
85歳以上	100.0 (250)	2.0	3.2	4.8	0.4	4.0	32.0	6.0	4.0	8.0	6.4	49.6		

6 高齢者のボランティア活動などに必要な行政の支援〔複数回答〕

「活動に関する情報を提供する」の割合が最も多く、33.5%

高齢者が行うボランティア活動・地域活動・NPO活動をより盛んにするために必要な行政の支援について聞いたところ、「活動に関する情報を提供する」の割合が33.5%で最も高く、次いで「活動のための場所（公的施設など）を提供する」が30.8%となっている。（図8-6）

図8-6 高齢者のボランティア活動などに必要な行政の支援〔複数回答〕
—平成27年度調査との比較



（注）※は、調査平成27年度調査では「ボランティアをしたらポイントが貯まるなど、参加したくなるような制度をつくる」としていた。